

6mAM ロールコールグループ

【2013 ハムフェア】



FDAM-2

目 次

(1) 6mAM ロールコールグループ	3 ページ
(2) 各地のロールコールの紹介	4 ページ
(3) 1 エリア 6mAM ロールコール	5 ページ
(4) 2 エリア 6mAM ロールコール	8 ページ
(5) 南大阪 A3 ロールコール	11 ページ
(6) 新潟 6mAM ロールコール	16 ページ
(7) 3 エリア 50MHz AM ロールコール	17 ページ
(8) SP-MIC con BOX for FT-817	20 ページ
(9) A2A・F2A 用低周波発信器の製作	24 ページ
(10) 復活ハム、ヘンテナ製作にハマル	26 ページ
(11) 屋上に浮かぶ垂直アンテナの製作	30 ページ
(12) 分布定数線路上のインピーダンスの変化	32 ページ
(13) 江角電波とその製品について	37 ページ
(14) 計測器今昔	42 ページ
(15) 盆と正月は 6mAM で盛り上がろう	43 ページ
(16) 第 1 回 6mAM サマーパーティーの結果と次回の予告	44 ページ
(17) 第 2 回 6mAMQSO パーティーの結果と次回の予告	46 ページ
(18) 6mAM アクティブプラン	48 ページ
(19) 第 25 回 2 エリア主催 AM コンテストの結果	49 ページ
(20) マラソンコンテスト結果 (2012 後半)	50 ページ
(21) マラソンコンテスト結果 (2013 前半)	51 ページ
(22) 第 28 回 1 エリア AM コンテスト結果報告	52 ページ
(23) 第 29 回 1 エリア AM コンテストのお知らせ	54 ページ
(24) 第 24 回 2 エリア主催 AM コンテストのお知らせ	55 ページ
(25) 6 m AM マラソンコンテストのお知らせ	56 ページ
(26) 全国 6mAM ロールコールについて	57 ページ
(27) 「6m ロールコールグループ」キー局募集	57 ページ
(28) ハムフェアのパンフレット原稿募集	58 ページ
(29) 運営資金の寄付のお礼とお願い	59 ページ
(30) 編集後記	59 ページ

6 m AM ロールコールグループ

公式サイト <http://www.6mam.com/>

「週に一度は AM で交信しよう」

6m AM ロールコールについて

「週に（月に）1 度は AM の電波を出して、交信しよう。」という趣旨で、各地でロールコールを開催しています。私たちは「クラブ制」「会員制」「地域制」は採っていません。50MHz の AM が好きで、オンエアできる人たちが集まってロールコールを開催しています。

各エリアで独自にロールコールを実施していますが、「1 エリアの人は、1 エリアのロールコールに……。」ということはありません。キー局（ネット局）の信号が聞こえていたら、1 エリアの人が他のエリア（2,3,0 エリア）のロールコールに参加するのも歓迎しています。もちろん、1 エリアのロールコールに、他のエリアからのチェックインがあるのを楽しみにしています。

ロールコールとは、どんなものでしょうか。

おおよそ、次のように進められます。（エリアごとに、多少進め方は異なります。）

- （1）中心になる「キー局（ネット局）」が、チェックイン（参加）を呼びかけます。
- （2）キー局の信号が聞こえた人から、順にコールしていきます。
- （3）キー局に取ってもらえた順に、RS レポートを交換します。
また何かインフォメーションがある人は、この時に伝えます。
- （4）キー局は次々と、チェックイン受け付けを進めていきます。
- （5）適時、インフォメーションを流します。

6m AM ロールコールに参加している人は、どんな人でしょうか。

「50MHz AM のアクティビティ向上、情報交換、交流」を目的にしていますが、実際にはどんな方々が参加しているのでしょうか。

インフォメーション（移動運用、特別局の予定、など）を待っている人、自作機や古いリグの動作確認、調整を兼ねてオンエアする人、ロールコールくらいはオンエアしたい人、様々な人が参加しています。共通しているのは、「50MHz の AM が好きな人。」ということです。

皆さんもぜひ一度、肩肘張らずに気軽に「ロールコール」に参加してみませんか？
どのロールコールでもチェックインは大歓迎です。

（文責：JP1EVD 吉原）

【各地のロールコールの紹介】

運用周波数は目安です。聞こえなくても、付近をさがしてみてください。
時刻は開始時刻ですが、定時送信ではありません。
急遽お休みもあることを了承下さい。
インフォメーション、ロールコールのキー局も募集中です。
ご質問などは jp1evd@jarl.com までお気軽にお問い合わせ下さい。

【各エリア】

関東 1 エリア 6 m AM ロールコール

毎週日曜日 21:30 ～ 50.55MHz

主なキー局：JA1EEZ JK1ONN JP1EVD JQ1LXI JR1UJX JH7OZQ/1
JF9BLA/1 他

東海 2 エリア 6mAM ロールコール

毎週土曜日 21 時～ 50.60MHz

主なキー局：JA2AZZ JE2VBZ JH2INQ JF2HEV JF2QKA JG2QUM 他

関西 南大阪 A 3 ロールコール

毎週金曜日 21 時～ 50.55MHz

主なネット局：JA3XQO 他

関西 3 エリア 50MHz AM ロールコール

毎月最終土曜日 21 時～ 50.54MHz

キー局：JL3FIS サブキー局 JO3USP、JI3BDA、JE3KMZ 他

※主番組は 28.305MHz で開催の 3 エリア 28MHz AM ロールコールです。

信越 新潟 6mAM ロールコール

毎月第 3 土曜日 21 時～ 50.62MHz

主なキー局：JG0GJG 他

【全国】

全国（富士山）ロールコール

毎年 1 回の予定 50.60MHz

キー局：有志の皆さん

大晦日ロールコール

12 月 31 日 夜 50.55MHz 付近

キー局：有志の皆さん

1 エリア 6 m A M ロールコール

※ 夏休みスペシャル 6mAM ロールコールは、現在休止中です。

1 エリア 6 m A M ロールコールは、下記の日時・周波数で毎週行われています。
どなたでもお気軽にチェックインいただけます。

日曜日の夜のひととき、是非一度ワッチしてみてください。

日 時 毎週日曜日 21 時 30 分から 22 時 30 分頃まで（終了時間は多少前後します）

周波数 50.550 MHz 付近 モード A3(A3E) か A3H(H3E)

キー局（昨年 8 月以降、一度でもキー局を行った局）

J A 1 E E Z	田中	東京都豊島区	26m+23m 高 11 エレ	スパイラルレイ× 2
J K 1 O N N	高田	東京都武蔵野市	10m 高 2 エレ	HB9CV
J P 1 E V D	吉原	横浜市港北区	22m 高 6 エレ	八木
J Q 1 L X I	三橋	川崎市宮前区	15m 高	スクエアロー
J R 1 U J X	松永	東京都練馬区	75m 高 2 エレ	HB9CV
J H 7 O Z Q	荒井	千葉県鎌ヶ谷市他	20m 高 6 エレ	2 段スタック
J F 9 B L A	東	東京都台東区	15m 高 4 エレ	HB9CV

毎週キー局が変わり、チェックインいただく方にはご迷惑をおかけしますが、これも永くロールコールを行うためにキー局の負担を減らす工夫ですので、ご理解、ご協力をお願いいたします。なお、キー局の担当予定は、ロールコールのインフォメーション、1 エリア 6 m A M ロールコールメーリングリスト、6mAM.com の掲示板などで発表されますが、都合により予告無く変更することがあります。

1 エリア 6 m A M ロールコールでは、キー局を募集しています。臨時や 1 回限りでも構いませんし、ローテーションに加わっていただければなお有り難く存じます。身近なキー局までお知らせください。

1 エリア A M ロールコールメーリングリスト (1AMRC) について

1 エリア A M ロールコールでは、メーリングリストを開設しています。

ロールコールのキー局の連絡、チェックイン局リスト、インフォメーション等にご利用しており、現在 195 名の方にご参加頂いております。どなたでもお気軽にご参加いただけます。

インターネットで、「1AMRC」で検索し、下記ホームページから登録してください。

<http://groups.yahoo.co.jp/group/1amrc/>

1 A M R C

検索



または、次のいずれかの方法でもご参加できます。

1. J K 1 O N N (jk1onn@jarl.com) に参加希望のメールを送る。
2. 1amrc-subscribe@yahoogroups.jp に空のメールを送る。
スパムメール防止のため、参加者以外の投稿は受け付けておりません。
ご了承ください。

（文責：JP1EVD 吉原）

1 エリア 6 m A M ロールコール

2012 年 8 月 5 日～ 2013 年 7 月 28 日のキー局別チェックイン局数。

日 付	局数	キー局	日 付	局数	キー局	日 付	局数	キー局
8 月 5 日	38	JP1EVD	12 月 9 日	44	JH7OZQ	4 月 14 日	49	JP1EVD
8 月 12 日	46	JH7OZQ	12 月 16 日	24	JK1ONN	4 月 21 日	49	JH7OZQ
8 月 19 日	35	JK1ONN	12 月 23 日	42	JQ1LXI	4 月 28 日	57	JA1EEZ
8 月 26 日	44	JF9BLA	12 月 30 日	34	JH7OZQ	5 月 5 日	44	JP1EVD
9 月 2 日	42	JP1EVD	1 月 6 日	44	JP1EVD	5 月 12 日	31	JK1ONN
9 月 9 日	46	JH7OZQ	1 月 13 日	41	JK1ONN	5 月 19 日	63	JR1UJX
9 月 16 日	39	JK1ONN	1 月 20 日	40	JH7OZQ	5 月 26 日	70	JH7OZQ
9 月 23 日	67	JR1UJX	1 月 27 日	60	JR1UJX	6 月 2 日	38	JK1ONN
9 月 30 日	32	JQ1LXI	2 月 3 日	31	JK1ONN	6 月 9 日	53	JP1EVD
10 月 7 日	36	JH7OZQ	2 月 10 日	60	JA1EEZ	6 月 16 日	65	JA1EEZ
10 月 14 日	40	JQ1LXI	2 月 17 日	48	JP1EVD	6 月 23 日	63	JA1EEZ
10 月 21 日	33	JK1ONN	2 月 24 日	40	JH7OZQ	6 月 30 日	59	JH7OZQ
10 月 28 日	41	JH7OZQ	3 月 3 日	38	JK1ONN	7 月 7 日	32	JK1ONN
11 月 4 日	45	JP1EVD	3 月 10 日	36	JQ1LXI	7 月 14 日	40	JH7OZQ
11 月 11 日	49	JA1EEZ	3 月 17 日	60	JA1EEZ	7 月 21 日	48	JP1EVD
11 月 18 日	39	JK1ONN	3 月 24 日	55	JH7OZQ	7 月 28 日	31	JF9BLA
11 月 25 日	58	JA1EEZ	3 月 31 日	57	JA1EEZ			
12 月 2 日	39	JP1EVD	4 月 7 日	26	JK1ONN			

1 エリア 6 m A M ロールコール参加局一覧

2012 年 8 月 5 日～ 2012 年 7 月 28 日 (52 回分) のチェックイン局及びチェックイン局数です。

5 回以上チェックインされている局は、主な運用地を載せています。

	コール	回数	運用地		コール	回数	運用地		コール	回数	運用地
1	JA1AI	10	横浜市鶴見区	33	JA1RTS	1		65	JF1AWS	5	戸田市
2	JA1AT	32	大田区	34	JA1SEL	1		66	JF1CJT	3	
3	JA1IE	1		35	JA1STJ	1		67	JF1JDC	17	横浜市港北区
4	JA1KK	50	杉並区	36	JA1UAV	2		68	JF1KKM	12	川崎市麻生区
5	JA1AEW	7	台東区	37	JA1UOA	1		69	JF1KUR	1	
6	JA1AGJ	1		38	JA1UTW	1		70	JF1LET	1	
7	JA1AJX	43	川口市	39	JA1VMW	1		71	JF1MZA	22	調布市
8	JA1AMG	8	野田市	40	JA1VZV	35	相模原市南区	72	JF1NEG	47	横浜市金沢区
9	JA1AUC	11	三鷹市	41	JA1WOB	25	立川市	73	JF1NNW	9	三鷹市
10	JA1BBR	3		42	JA1WTM	4		74	JF1OQM	2	
11	JA1BSN	24	横浜市金沢区	43	JE1BMJ	13	佐倉市	75	JF1RQP	1	
12	JA1DPF	1		44	JE1BPO	3		76	JF1SYD	3	
13	JA1DWI	11		45	JE1CXL	1		77	JF1SYP	1	
14	JA1EEZ	39	豊島区	46	JE1EMH	4		78	JF1TOI	2	
15	JA1FEI	29	川崎市宮前区	47	JE1FCT	2		79	JF1ULY	4	
16	JA1FUB	24	立川市	48	JE1FPM	1		80	JF1VRU	1	
17	JA1FWJ	3		49	JE1GLR	2		81	JG1BVX	1	
18	JA1GDM	4		50	JE1GQM	9	北区	82	JG1EMQ	17	国分寺市
19	JA1GQC	1		51	JE1HIS	1		83	JG1ESW	7	横浜市泉区
20	JA1GTN	29	横浜市港北区	52	JE1HRC	1		84	JG1FMH	1	
21	JA1JNY	1		53	JE1ICU	6	前橋市	85	JG1HYX	2	
22	JA1JRS	30	足立区	54	JE1JDD	2		86	JG1LAU	5	練馬区
23	JA1JZB	1		55	JE1LCK	12	所沢市	87	JG1NCL	11	豊島区
24	JA1KRY	15	川崎市麻生区	56	JE1LWR	2		88	JG1OHM	1	
25	JA1KXS	6	町田市	57	JE1OIZ	1		89	JG1RQT	41	大田区
26	JA1LVI	1		58	JE1OPD	44	町田市	90	JG1RUM	25	川崎市麻生区
27	JA1NOJ	6	川崎市中原区	59	JE1QGT	11	八王子市	91	JG1SGH	1	
28	JA1NUH	33	調布市	60	JE1QJE	1		92	JG1SWV	1	
29	JA1PKN	1		61	JE1RFX	1		93	JG1TSG	29	鴨川市
30	JA1QUT	24	八王子市	62	JE1RZR	9	三浦市	94	JG1TWP	30	国分寺市
31	JA1RBP	2		63	JE1UTW	6	横浜市磯子区	95	JG1UTA	4	
32	JA1RRE	2		64	JE1XCA	1		96	JG1WIL	16	杉並区

	コール	回数	運用地		コール	回数	運用地		コール	回数	運用地
97	JG1XMU	2		156	JL1LOF	1		215	JR1XUD	7	横浜市鶴見区
98	JG1XNW	34	板橋区	157	JL1MYP	1		216	JS1LQI	11	江東区
99	JH1BHT	1		158	JL1NDH	21	八王子市他	217	JS1NHA	8	横浜市都筑区他
100	JH1CBI	1		159	JL1SEN	2		218	7K1BIB	6	杉並区
101	JH1DBM	2		160	JL1STZ	7	杉並区	219	7K1PTO	11	川崎市多摩区
102	JH1DKX	1		161	JL1UFO	1		220	7K1PTT	2	
103	JH1DOR	7	流山市	162	JL1USZ	1		221	7L1MUG	3	
104	JH1EGJ	2		163	JL1UYE	25	江東区	222	7L1UFO	2	
105	JH1EHA	1		164	JL1VNO	2		223	7L1WQO	1	
106	JH1ESS	1		165	JL1XVZ	1		224	7L1WRK	1	
107	JH1ITA	1		166	JM1IHx	7	ふじみ野市	225	7M1IYK	16	秩父郡東秩父村
108	JH1JXN	1		167	JM1KLO	12	三鷹市	226	7M1KHG	10	八王子市
109	JH1LRG	31	藤沢市	168	JM1LRA	1		227	7N1AUE	1	
110	JH1MKT	1		169	JM1MAX	2		228	7N1GMK	1	
111	JH1MRL	1		170	JM1OPG	29	武蔵村山市	229	JF2EHU	1	
112	JH1OHS	2		171	JM1SZY	44	横浜市青葉区	230	JF2TAR	1	
113	JH1PWA	16	葛飾区	172	JM1WBB	1		231	JG2TSL	3	
114	JH1QGU	3		173	JM1WDJ	2		232	JH2BAX	2	
115	JH1QMR	3		174	JN1CKI	4		233	JH2COZ	2	
116	JH1RQB	1		175	JN1JVA	10	府中市	234	JH2FQS	2	
117	JH1URT	2		176	JN1UJY	7	横浜市港南区	235	JH2HIS	1	
118	JH1WOB	2		177	JN1VVR	1		236	JH2INQ	1	
119	JH1WWW	1		178	JO1ETR	2		237	JL2LRA	6	横浜市旭区
120	JI1FKY	1		179	JO1FWF	2		238	JQ2NBN	37	横浜市旭区
121	JI1HCD	8	三鷹市	180	JO1GSD	1		239	JR2CCH	4	
122	JI1OXJ	8	新座市	181	JO1GSP	1		240	JS2VVH	1	
123	JI1PZT	1		182	JO1KVS	3		241	7K2ELT	9	佐倉市
124	JI1RVX	16	戸田市	183	JO1PQH	3		242	7K2HUG	3	
125	JI1TLL	13	横浜市神奈川区	184	JO1UBD	26	葛飾区	243	7K2TRM	1	
126	JI1UIF	1		185	JO1UNR	45	新座市	244	7N2AIA	1	
127	JI1UTI	15	川崎市高津区	186	JP1AXI	5	北区	245	7N2TNI	16	小金井市
128	JI1VXJ	1		187	JP1DMR	9	大里郡寄居町	246	JE3NJZ	21	さいたま市浦和区
129	JJ1COQ	2		188	JP1EAC	5	目黒区	247	JF3KOA	14	町田市
130	JJ1ERR	2		189	JP1EVD	43	横浜市港北区	248	JF3KVM	1	
131	JJ1FDS	2		190	JP1IXO	1		249	JI3NPS	2	
132	JJ1FZN	14	下妻市	191	JP1KVE	3		250	JJ3MSN	8	大田区
133	JJ1GUW	2		192	JP1LRT	10	杉並区	251	JL3HBA	5	宇都宮市
134	JJ1GWF	3		193	JP1QGO	4		252	7K3BKZ	2	
135	JJ1HHJ	4		194	JP1SMR	2		253	7K3PCI	7	八王子市
136	JJ1IUK	1		195	JQ1AFJ	6	北杜市	254	7L3FYY	4	
137	JJ1MIW	1		196	JQ1BVI	3		255	7L3PHY	1	
138	JJ1PIJ	2		197	JQ1FIB	10	さいたま市岩槻区	256	7M3NEV	3	
139	JJ1SWI	9	国分寺市	198	JQ1GTN	1		257	7N3CCB	11	横浜市港北区
140	JK1DHX	1		199	JQ1IDQ	1		258	JH4EII	4	
141	JK1DTK	11	中央区	200	JQ1LXI	17	川崎市宮前区	259	JI4OMC	2	
142	JK1HEX	1		201	JQ1PKN	12	さいたま市岩槻区	260	7L4DVN	5	相模原市緑区
143	JK1HIX	33	富津市	202	JQ1SOA	1		261	7M4CLF	11	上野原市他
144	JK1ILE	2		203	JQ1TIV	7	越谷市	262	7N4WBD	7	東村山市
145	JK1LPD	16	国立市	204	JQ1TTB	1		263	JA6FQH	1	
146	JK1NAV	9	越谷市	205	JQ1UNI	1		264	JH6GBG	1	
147	JK1NZM	52	品川区	206	JQ1UNK	1		265	JA7HHI	1	
148	JK1ONN	49	武蔵野市	207	JR1EMM	39	目黒区	266	JA7JZB	2	
149	JK1SZX	4		208	JR1FBA	32	鎌倉市	267	JG7SFR	10	葛飾区
150	JK1VSY	5	港区	209	JR1FMD	1		268	JH7OZQ	52	鎌ヶ谷市
151	JK1XBR	10	船橋市	210	JR1LIF	1		269	JA8KEA	2	
152	JK1XSC	1		211	JR1LZK	9	水戸市	270	JR8DAG	1	
153	JL1AGH	1		212	JR1OBC	49	目黒区	271	JF9BLA	26	台東区
154	JL1CHY	2		213	JR1OGD	2		272	JA0FKM	3	
155	JL1JUO	3		214	JR1UJX	13	練馬区	273	JIOXBB	5	横浜市鶴見区

2 エリア 6 m A M ロールコール

前回当局がこのパンフの挨拶文を書いたのは 2009 年でしたが、その頃と比べて参加局数がまた増えています。何とかロールコールの時間帯に参加局同士の Q S O をと思い活用を呼びかけてはいるのですが、なかなか成果になっていません。グランドミーティング等の機会にさらなる呼びかけをしたいと思っています。

今年はキー局をよく手伝ってくれている 2 局にも文章を書いて頂きましたので、この下に紹介します。

(文責：J F 2 Q K A)

毎週のロールコールで一週間のリズムを刻んでみえる局長さんが多いと感じます。キー局側の時は、

コールから Q R A、Q T H が即座に思い浮かべばと日々努力です。

(文責：J E 2 V B Z)

毎週土曜日の 21 時になると、「こんなに 6m をワッチしていた局がいたの？」と驚くほどの局長さんが交信してくれます。難しい説明やアマチュア無線の有効性の説明は不要でしょう。やはり、アマチュア無線の醍醐味は交信できてこそですね。少しでも 6m の交信を盛り上げたいという気持ちで、ときどきロールコールのキー局をしています。みなさんも、キー局およびチェックイン局としてぜひ参加して 6m を盛り上げませんか？

なお、ロールコールは毎週行われていますので、自作リグや自作 A N T の調整にもってこいです。

また、移動運用地の探索にも便利です。夜間に 6m A M がつながるところは良い移動運用場所になりますから。6m のリグを持っている方は多いはずです。6m なら、D P - A N T も簡単に自作できるはず。高価な市販 A N T は不要です。面倒なバランなんてなくても O K です。少々マッチングがずれていたって、ちゃんと電波は飛んでいきます。腕に自信のある方は自作リグに挑戦してみましょう。A M 機なら可能です。それでは、みなさんと 6m A M で交信できることを楽しみにしています！

(文責：J G 2 Q U M)

毎週土曜日 21:00~22:30 頃まで A M モード 50.600MHz 付近にて運用

概ね、第1週・3週は尾張地方、第2週・第4週は三河地方で運用、第5週はその都度調整

特に会員制やクラブ制はとっていません。参加に制限はありませんのでお気軽に

参加してください。

チェックインの受付 開始から 22:20 頃まで

インフォメーション 22:20 前後からアナウンス

追加のチェックイン受付 インフォメーションの終了後 22:30 頃まで

ロールコール以外にも、コンテストやフィールドミーティングも時々開催しています。

土曜日の夜には、21時から、50.600MHz をワッチしてみてください。

○第32回2エリア（愛知県）6m A M ロールコールグランドミーティング

主催：2 エリア 6 m A M ロールコールグループ

50MHz A M に出られる方・興味のある方でしたらどなたでも参加できます。

ロールコール報告・アイボール・自作品紹介・抽選会等を行います。

日 時：2013 年 11 月 24 日（日）13:00~17:00

会 場：名古屋市港区 「名古屋港湾会館」第5会議室

アクセス：地下鉄名港線「名古屋港」駅下車、1 番出入口より徒歩 2 分。

（名古屋駅より地下鉄名港線へは、JR 東海道線「金山」駅、地下鉄桜通線「久屋大通」駅、地下鉄東山線「栄」駅、各駅にてお乗換えが便利です。）駐車場はありません。

隣接するガーデンふ頭駐車場（有料 30 分 100 円、24 時間上限 1,000 円）を御利用ください。

※車椅子利用の方は身障者用駐車場のご利用が可能です。

会費：300 円 ※館内は持ち込み飲食禁止です（自販機有り）。

問合せ先：E-Mail にて JF2QKA または JA2AZZ (.....@jarl.com) へ

【最近の毎回の参加局数とキー局の運用実績】

2012年	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
1月	A q u Q 6 7	I 7 7	Q Z 7 2	I 6 9	
2月	A v b 6 2	I 7 4	Q 6 6	I v b q u 7 0	
3月	A Q 6 4	I 6 9	Q 6 7	I 6 5	I F q q Q 5 4
4月	I v b 6 0	A Q 6 7	Q v b q u 7 0	I Z 7 7	
5月	A Q 5 7	I 6 4	Q v b 6 7	I 6 7	
6月	A Q 6 6	I q u v b 6 0	Q 6 3	I 6 4	Q v b q u I 6 5
7月	A Q q u 6 4	Q 5 9	I 6 9	I 5 9	
8月	A Q 5 2	I 6 3	Q 5 6	A v b Z 5 7	
9月	Q 6 7	I 6 7	Q v b 6 6	I 6 2	Q I 7 7
10月	Q 6 5	I 6 5	Q I v b 7 0	I 6 9	
11月	Q v b 5 3	I q u 7 5	I 6 4	Q v b 7 4	
12月	Q 6 4	I 6 0	Q v b 6 1	I q u 6 1	Q v b I 6 6

※2012年のべ3371局平均≒64.8局

2013年	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
1月	Q q u 6 8	I 7 1	Q 7 7	I 7 7	
2月	Q 8 1	I 7 4	I Q 7 5	I 8 0	
3月	Q v b 6 8	I 7 6	Q v b 7 0	I 7 6	I P Q v b 7 5
4月	Q 7 5	I 7 8	Q v b 6 6	I 7 4	
5月	Q 6 9	I 7 1	Q v b 8 1	I 8 0	
6月	Q 8 1	I 7 2	Q q u 7 5	I 8 3	Q v b 7 4
7月	Q 6 1	I 6 6	I 7 5	Q v b 7 3	

※2013年のべ2222局平均≒74.1局（7月末まで）

局数の前はキー局略符号（複数は合同運用）です。（キー局一覧は2001年から実績のある局）

A-J A 2 A Z Z, J-J R 2 J K L, U-J F 2 U J G, H-J F 2 H E V, V-J L 2 V X R,
Q-J F 2 Q K A,

F-J G 2 V S F, N-J Q 2 S J N, T-J Q 2 S A T, B-J H 3 B D B, K-J Q 2 K J X,
P-J F 2 P E O,

C-J I 2 C P F, R-J Q 2 R V N, I-J H 2 I N Q, t h-J E 2 T H U, Z-J E 3 K M Z,
O-J A 2 N U O,

M-J A 2 M W B, L-J Q 1 L X I, q u-J G 2 Q U M, v b-J E 2 V B Z, E-J H 2 E E F,
G-J R 3 G O X, X-J L 2 X M W, q q-J K 2 Q Q B コールサインが太字は去年以降の実施局

キー局 大募集 !!!

ちょっと遊びにでも OK、見学、冷やかし OK、自宅からの固定キー局も OK

キー局をやってみませんか？自作アンテナや無線機の実験も大歓迎！！

いろいろなチャレンジをして6m AMを楽しみましょう！！

みなさんの提案をお待ちしています！！

2 エリア 6 m A M ロールコール参加局リスト

(2013 年 1 月～2013 年 7 月)

運用地;愛知県小牧市白山峠、岐阜県土岐市三国山、愛知県炮烙山など関連情報を掲載中です。

<http://www.6mam.com/amrc/2amrc/index.html> を覗いてみてください。

C A L L	QTH/ 移動運用	C A L L	QTH/ 移動運用	C A L L	QTH/ 移動運用	C A L L	QTH/ 移動運用
JA2EQ	春日井市	JH2LTL/2	多治見市	JF2LKG/2	多治見市	JM2BGD	可児市 / 他
JA2FO	知多市	JH2ODD	天白区 / 他	JF2LNC	緑区	JM2CAN	豊田市
JA2AEP	半田市	JH2OET	小牧市	JF2LRR	多治見市	JM2RYG	瀬戸市 / 他
JA2ANO	岡崎市	JH2QBV	岡崎市 / 他	JF2NMY	豊田市	JM2UTS/2	港区
JA2AOC	豊橋市	JH2VXK	知多郡 / 他	JF2NXJ	岡崎市	JN2HYM	清須市 / 他
JA2APH	犬山市	JR2BBR	岡崎市 / 他	JF2OWI	守山区 / 他	JN2OWD	昭和区
JA2AXP	江南市	JR2BTT	知多市	JF2PEO	小牧市	JN2OWE	昭和区
JA2AZZ	北名古屋	JR2CQH	名東区	JF2PFH	一宮市 / 他	JN2TQM	岡崎市
JA2BJG	岡崎市	JR2DNK	岡崎市	JF2PZN	中区	JO2SIF	多治見市
JA2BNG	春日井市	JR2DWW	守山区 / 他	JF2QKA	蒲郡市	JO2UYF	愛知郡
JA2BNV	北名古屋	JR2EHH	守山区	JF2SDR	春日井市 / 他	JP2AFH	春日井市
JA2BPN	美濃加茂市	JR2EXE	日進市	JF2TAR	一宮市	JP2BQB	豊田市
JA2BQD	碧南市	JR2GAU	一宮市	JF2WAV	浜・東区	JP2KUB	知多市
JA2CCV	尾張旭市	JR2GQK	揖斐郡	JF2WHT	豊田市	JP2LOA	稲沢市
JA2CQE	緑区	JR2IBL	千種区	JF2YJA/2	中区	JP2OMU	刈谷市
JA2CWW	名東区	JR2IGA	刈谷市	JG2DCU	東区	JP2QCX	南区
JA2CYR	清須市	JR2JKL	小牧市	JG2DVN	刈谷市	JQ2AJL	北区
JA2DST	北区	JR2JLX	天白区	JG2DXU	安城市	JQ2FKX	半田市 / 他
JA2FAS	尾張旭市	JR2LBF	北名古屋	JG2FZF	小牧市	JQ2FYT	東区
JA2GUJ	豊橋市	JR2LNG	西尾市	JG2KSI	碧南市	JQ2KJX	春日井市
JA2HJB	安城市	JR2MKM	北区	JG2QUM	緑区	JQ2SJN	新城市
JA2IFE	北名古屋	JR2MON	天白区	JG2TLG	名東区 / 他	JQ2SOY/2	揖斐郡
JA2JWH	名東区	JR2NDG	瑞穂区	JG2UYD	北区	JQ2USK	豊田市
JA2LDR	尾張旭市	JR2NFC	北名古屋	JG2VSF	東海市	JQ2UUI	知多郡
JA2MET	港区	JR2NTD	緑区	JG2WSZ/2	名東区	JQ2VBC	岡崎市
JA2MMC	弥富市	JR2OZB	春日井市	JI2CPF	桑名市	JQ2XST	一宮市
JA2MWB	愛知郡	JR2PAN	愛西市	JI2EVR	知多郡	JS2KWM	小牧市 / 他
JA2NEN	伊賀市	JR2QFZ	瀬戸市 / 他	JI2GCM	一宮市	JS2PHO	豊川市
JA2NUO	豊田市 / 他	JR2RZR	西尾市	JI2GVL	田原市	JR1UJX/2	一宮市 / 他
JA2OHB	岡崎市	JR2SRH	東海市	JI2LZQ	可児市	JM1NCA/2	名東区
JA2OPP	可児市 / 他	JE2CBQ	幡豆郡	JI2NQR	中津川市	JM1SZY	横・青葉区
JA2PTT	小牧市	JE2MIR/2	日進市	JI2XIU	志摩市	JQ1AHZ/2	日進市 / 他
JA2QNV	緑区	JE2OJT	南区	JI2ZWG	大府市	JA3FWI/2	各務原市
JA2STO	昭和区	JE2PMC	岩倉市	JJ2BXL	港区	JA3TVM	彦根市
JA2VWM	尾張旭市	JE2PZN	知多郡	JJ2DAL	半田市	JH3OXM/3	常滑市
JA2XUR	知多市	JE2QHK	大府市	JJ2EKU	尾張旭市	JE3KMZ/3	神・東灘区 / 他
JA2YAI/2	知多郡	JE2RGG	尾張旭市	JJ2HAW	豊明市	JE3TJS	神・東灘区
JA2YEF	春日井市	JE2RUF	各務原市	JJ2JON	緑区	JI3BSB/3	茨木市
JH2BAX	掛川市	JE2VBZ	瀬戸市 / 他	JJ2LIE	江南市	JI3BXL	相模郡
JH2BVJ	豊田市	JE2VQT	瑞穂区 / 他	JJ2MMK	豊田市	JI3VKB	東近江市
JH2CII	羽島市	JE2VVQ/2	守山区	JJ2SDM	各務原市	JK3YJH/2	土岐市 / 他
JH2EEF/2	豊田市	JF2ANH	南区	JK2EBB	日進市 / 他	JO3HYM/2	志摩市
JH2EEK	春日井市	JF2AZM	美濃加茂市	JK2HGB	碧南市	JA4KEH/3	近江八幡市
JH2GSW	刈谷市	JF2CLN	刈谷市	JK2JJH	蒲郡市	JN4PMO/4	浅口市
JH2INQ	豊田市 / 他	JF2CRP	岡崎市	JK2JMC	東海市 / 他	JO4BTP/2	土岐市 / 他
JH2IRW	瀬戸市	JF2CTY	安城市	JK2PWA	守山区 / 他	JH6AVS/2	尾張旭市
JH2IZF	知多郡	JF2HBI	緑区	JK2QQB	豊田市	JR8DAG/2	西区
JH2IZF/2	豊田市	JF2HEV	安城市	JK2RGS	小牧市	JG8EHF/2	刈谷市
JH2KBS	知立市	JF2INY	豊田市	JL2FAE	春日井市	JFOAZE	木曽郡
JH2KCI	桑名市	JF2KQI	愛西市	JL2PAE	北区		
JH2LEM	四日市市	JF2KWM	多治見市	JM2AZA	西尾市		

次は34周年めざして!!

南大阪A3ロールコール

※毎週金曜日21時から50.550MHz±AM

1980年2月～2013年7月

南大阪A3ロールコールの現状報告

(～2013.7.26.)

文責：JA3XQO(竹中信雄) ja3xqo@jarl.com
〒569-1123 大阪府高槻市芥川町1-2-A3002

① 丸33年半続きました、南大阪A3ロールコールについて

曜日・時間	→ 毎週金曜日21時から
周波数	→ 50.550MHz±AM
ネット局	→ JA3XQO(大阪府高槻市)他
時間割	→ 20:00-20:45 28.710MHzでロールコール 21:00-22:40 50MHzの部 チェックイン受付 22:40-23:00 インフォメーションをアナウンス 23:00-23:45 追加のチェックイン受付

② 去年から今年にかけて三つの三万達成!!

-
- (1) 21世紀になってからの南大阪A3ロールコールのべ参加局数は、2012年6月1日に三万局に到達しました。
※7/26現在：33905局
 - (2) 2002年6月にスタートしたm1のhamfes3amでは、2012年12月28日にメッセージ数が三万件を突破しました。
※7/31現在：30907件
 - (3) 21世紀になってから3エリア内よりの南大阪A3ロールコールのべ参加局数は、2013年5月31日に三万局に到達しました。
※7/26現在：30530局

③ 2013年の南大阪A3RC参加局一覧

2013.4.JAN～2013.26.JUL.

21世紀NEW

JA3AJH, JA3BBS, JA3BZO, JA3XFJ, JA3FQ0, JA3FRA, JA3FRI, JA3HAW, JA3HHN, JA3HKR,
JA3HPJ, JA3IMN, JA3IX0, JA3JFT, JA3LJR, JA3LSJ, JA3OHY, JA3PWS, JA3RAY, JA3RHL,
JA3TVQ, JA3TZZ, JA3UXP, JA3VXB, JA3XKU, JA3XQ0, JA3ZFQ,
JE3AZY, JE3CBQ, JE3EJC, JE3KMZ, JE3OUW, JE3PCP, JE3UVH, JE3VRJ, JE3WKZ, JE3XDK,
JF3FOA, JF3KUU, JF3KVM, #JF3MOK, JF3MTM, JF3NAO, JF3QJR, JF3TXF, JF3VSH, JF3XNP,
JG3DOR, JG3GNU, #JG3JCH, JG3KTM, JG3QK0, #JG3UQT, JG3XV0,
JH3ALF, #JH3APN, JH3BFD, JH3BFO, JH3BIF, JH3BZS, JH3CED, JH3CFK, JH3CFQ, JH3CHN,
JH3DMQ, JH3GPA, JH3HYI, JH3JLU, #JH3NTE, JH3YHX,
JI3AIX, #JI3BNB, JI3BSB, JI3BXL, JI3HQ0, #JI3KZD, JI3MIF, JI3RLY, JI3SBA, JI3XNT,
#JJ3FDB, JJ3FEF, JJ3FKB, JJ3FKC, JJ3GPJ, JJ3MQX, JJ3MSN, JJ3OZR, JJ3UGD,
JK3CSY, JK3EGR, JK3ILY, JK3TKA, JK3YJH
JL3AZA, JL3CEQ, JL3CEY, JL3DQX, JL3RNZ, JL3TOG, JL3TYN, JL3VSK, JL3YAE,
JM3HLU, JM3IIP, JM3WEE,
#JN3EEI, JN3IWQ, #JN3JKW, JN3KST, JN3MUC, JN3ONX, JN3VQM, JN3WXZ,
#J03BAP, J03DDD, J03EIO, J03FNR, J03IEE, J03NTB, J03QUX, J03RFX, J03UZP, J03XCR,
JP3DIB, JP3DIK, JP3DOJ, #JP3DQN, JP3EAN, #JP3FBA, #JP3FRA, #JP3HHA, JP3LGC, #JP3PLV,
JP3VND, JP3VWJ, JP3WAU,
JQ3AJD, JQ3KRF, JQ3NAA, JQ3VLD,
#JR3BBB, JR3CBX, JR3JLB, JR3KQF, #JR3KWK, JR3LEZ, JR3LKO, JR3PLZ, JR3QHQ, JR3WAS,
JR3WJX, JR3WTQ,
7J3ABP,
8J3A, #8J3XVIII,
JN1IYQ/3, #JF2WUB/3, JI2GVL/3, (J02WWD/3), JA4CFY/3, (JA4CXX/3), JH4RVF/3,
J04BTP/3, JR4DRP/3, JA6PRG/3, JA9MWC/3,
JA1ELQ, JJ1SWI, (JF3NAO/1), JL3HBA/1, JR3ELR/1,
JA2NEN, JF2LNC, J02WWD, JS2PHO, #(JJ3OZR/2),
JA4CXX,
JH5BKZ, JH5DAH,
JE6HID, JI3OHQ/6,
JE9MBV, JE9MFZ, JH9GUP,
JR0EJL,
#9M6/AH0CF, ZL3FRI,

2013年に1回以上チェックインした局 → 184局

2013年になってから21世紀初の参加局 → 21局

④ 2013年 エリア別参加局数

エリア	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	DX	小計
2001年計	1	86	2036	0	1	0	0	10#	0	0	0	2134
2002年計	1	88	2097	0	1	0	0	2	0	0	0	2189
2003年計	3	118	2049	0	0	0	0	1	2	1	1	2175
2004年計	0	80	2252	0	0	2	0	2	1	0	0	2337
2005年計	22	56	2095	3	0	0	0	0	4	0	0	2180
2006年計	92	141#	2114	2	1	2	1	2	55#	9	5	2424
2007年計	103	60	2509	40#	16	0	4	0	45	38	4	2819
2008年計	149	57	2314	30	89#	2	4	0	11	58#	11	2725
2009年計	194#	51	2471	8	82	4	15#	0	29	57	9	2920
2010年計	148	111	3102#	24	66	16	8	1	1	47	12#	3535#

2011年計	142	104	2733	11	73	58#	7	0	7	17	8	3160
2012年計	108	134	2947	6	59	59#	0	2	5	16	4	3341
2013年計	26	56	1795	4	39	27	0	0	5	8	3	1972

=====

21世紀計	989	1139	30530	128	424	169	39	20	165	250	57	33905
-------	-----	------	-------	-----	-----	-----	----	----	-----	-----	----	-------

=====

⑤ 2001-2013年 参加局数平均等データ

% 年間最高 # 21世紀最高 & 年間最低 * 前年同月越

	21世紀															
	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	13-12	平均	13-平
JAN	40.8	40.8	42.6*	52.4*	40.8	46.3*	49.5*#	52.5*	51.4*	60.2*	2)65.0*	3)62.3	1)66.3*	+ 4.0	51.6	+14.7
FEB	37.3	45.3*	46.0*	53.5*#	43.8	46.5*	54.5*	55.8*	52.8	1)78.0*#3)62.5	61.8	2)68.5*	+ 6.7	54.3	+14.2	
MAR	42.2	43.6*	42.0	49.3*	39.0	46.4*	55.6*	54.0	50.3#	1)66.0*	53.8#	2)64.0*	3)63.0	- 1.0	51.5	+11.5
APR	47.3	43.0	40.3	44.4*	45.6*	45.5	53.5*	57.3*#	52.5	1)66.8*	56.6	2)64.5*	3)62.7*#	- 1.8	52.3	+10.4
MAY	51.8#	45.0	46.2*#	45.5	45.8*	49.3*	51.0*	56.0*	57.8*	1)72.3*	3)69.0#	2)71.8*#	64.0	- 7.8	55.8	+ 8.2
JUN	44.2	44.3*	42.0	51.3*	48.0#	54.2*	60.4*#	49.0	57.5*	1)71.3*	62.3	2)70.6*	3)70.3#	- 0.3	55.8	+14.5
JUL	38.8	44.0*	40.5	42.6*	38.4	48.3*	58.8*	52.0	56.8*	3)63.4*	63.0	1)66.3*	2)65.8	- 0.5	52.2	+13.6
AUG	39.4	36.8	37.6*	32.8#	34.0*#	44.8*	52.6*	45.8#	3)58.3*	1)71.8*	2)61.5	50.6#				
SEP	32.5#	35.8*#	33.5#	35.8*	40.8*	46.8*	53.0*	51.0	56.8*	1)64.3*	3)58.2	2)62.7*				
OCT	39.0	45.5*#	41.6	40.4	40.5*	44.8*	55.5*	51.0	60.0*#1)66.4*	3)60.8	2)61.5*	2)61.5*				
NOV	38.0	41.4*	44.3*	40.8	41.3*	39.0#	53.4*	51.3	59.5*	2)67.0*	3)59.8	1)68.8*				
DEC	41.0	40.3	44.8*	40.4	44.8*	45.5*	51.5*	53.8*	2)59.8*	57.8#	3)58.6	1)67.7*				
平均	41.0	42.1	41.8	44.1	41.9	46.6	54.2	52.4	56.2*	1)66.7*	60.8	3)64.3*	2)65.7*	+ 1.4	51.7	+14.0

⑥南大阪A3ロールコール最近の話題から

- (1) 今年7月は、21世紀最多だった2012年に平均0.5局マイナスという好位置でした。
山あり谷あり、これからもいつ「大失速」するかわかりませんが、今の時点で盛況の背景を
列挙してみました。

・2012年の続き

7月5日までの時点で、平均参加局数は65.7局と盛況だった去年を大きく上回る状態
で進行しています。

・28MHzの部が定着してきた影響

去年の後半からはほぼ毎回20時から20時45分まで、28.710MHz A Mでもチェックイ
ンを受けつけるようになっていきます。早い時間にのんびりチェックインできる時間
帯を設定して、インフォメーションが充実してきました。28MHz・50MHzの2バン
ドで少数で参加してくださる方も、多いです。

・ひよどりロールコール群、離陸

隔週金曜日に、西神戸ウルトラハイバンド A M ロールコール(430.375MHz)と阪神
A3ロールコール(144.375MHz)が開催され、また木曜日の山陽VHFロールコールも隔
週で A Mで行われるようになってきています。金曜日の夜に、3バンド・4バンド
の A Mでロールコールに参加される局もあり、少しずつ南大阪A3ロールコールにも
いい影響が及んできているようです。

・Facebookでの情報発信

かってパケット・ラジオやJ&P-HOTLINE、そしてNIFTYなど(当時としては...)新
しいメディアの情報発信という面では6mの他モードより早く行動してきたのが
南大阪A3ロールコールでした。先行者利得みたいなもので、そちら方面から A M
のロールコールへ参加される局が増えていくというありがたい側面はありました。
最近では、2006年あたりからのVoIP経由 A M、そして昨年からのFacebookで情報

発信してきていることがロールコールの盛況につながったのではないかと分析しています。

・各種イベントや小ミーティングでのPRの成果

ここ数年、1月の関西HAMシンポジウム・3月の西日本HAMフェア・7月の関HAM・8月のHAMフェアとの四つのイベントでAMやロールコールのPRをしてきている3エリア6mAMロールコールグループです。昨年から今年にかけては、ドネーションしていただいた電子部品(J310G,2SC1815GR,DBM,ダイオード,変換コネクタ,FCZコイルetc.)や分厚い『3エリアAMマニュアル』が好評で、ブースは大盛況でした。

また、大きなイベントのない月の第三土曜日に開催している小ミーティングもいろんな方が会場確保に協力してくださるようになり、参加者も毎回十五局前後と盛況になってきています。

- (2) 5/17から7/5まで八回連続で、3エリア内からのロールコール参加局が60局以上でした。これは、21世紀最長記録です。

- (3)にぎわってますメーリング・リスト hamfes3am ※数字は2013年7/31まで
↓ ↓
<http://groups.yahoo.co.jp/group/hamfes3am/>
* 前年同月より増加 # 21世紀最多

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2010年	*342	*375	*298	217	242	*171	*356	*378	249	*380	*247	216
2011年	147	213	169	111	175	140	303	305	137	196	217	173
2012年	*215	167	*206	*130	*295	*142	141	187	*167	131	136	*191
2013年	172	104	112	104	100	120	*165					

南大阪A3ロールコール関連の情報交換や関HAM・HAMフェア出展等イベントの相談は、m lのhamfes3amで行っています。参加者は、ただいま140ID。開設以来コンスタントに、毎月100~200件のメッセージがアップされてきています。なお、hamfes3amは、yahooグループのm l内でカテゴリ・アマチュア無線では、2位を10000件以上離してメッセージ数のトップを轟進中!!

参加希望の方は、JA3XQOまでご連絡ください。(ja3xqo@jarl.com)

- (4) 数年前から、南大阪A3ロールコールはEchoLinやWIRESなどVoIP経由で他エリアや海外でも受信できるようになっています。不定期ですが、各地で6mAMや430MHz等のノードが運用され、ロールコールへのチェックインが可能なこともあり、最近では参加局のうち3から10局前後がVoIP経由。7/26は、6局でした。

南大阪A3ロールコールでは、50.550MHz付近のAMで聞こえる信号である限りグランドウェーブやEs・Sc・Msなどの直接波はもちろん、VoIP経由のチェックインにも平等に対応するというオープンな性格のロールコールでして、今後も門戸を開いていくつもりです。

⑦HAMフェア会場臨時ロールコール予定

8/24(土)・8/25(日)とも

11:30-11:45	430.375MHz±AM
11:45-12:00	144.375MHz±AM
14:00-14:30	50.550MHz±AM
14:30-14:45	28.710MHz±AM
15:15-15:30	21.390MHz±AM
15:30-15:45	7.155MHz±AM

新潟 6mAMRC

新潟では毎月第3土曜日 21:00 ~ 50.620MHz で6mAM ロールコールを行っています。

キー局: JG0GJG

移動地: 多宝山 (634m 新潟市西蒲区 旧岩室村) → 4月~11月

角田山 (482m 新潟市西蒲区 旧巻町) → 12月~3月

設備: IC-703+HL66V (約15W) +SkyDoor (ループアンテナ) 7mH

電源→リチウムイオン電池 (GANGAN)

ダウンリンク用: FT-817(1W)+アローライン

6mでは水平・垂直の偏波が混在するため、チェックイン局が他のチェックイン局の信号を聞くのが困難な場合が多く、参加局がロールコールの進行状況をモニターできるよう、430MHzでキー局での受信状況をダウンリンクしています。(ダウンリンク周波数 438.82MHz)

●この1年間(第91回~第102回)を振り返って

昨年に引き続きチェックイン局数20局前後で推移している。

アンテナ設営が困難なほどの荒天に遭遇せず、山頂からの運用ができた。

8エリアから7年ぶりにチェックインがありました。

9エリアから第99回を除いて毎回チェックイン局ありました。

1エリアからもほぼ毎回チェックイン局ありました。

平成25年5月に第100回(平成17年開始以来8年目)を迎えることができ、

200回に向けて新しいスタートを切りました。

●6mAMRC以外にも新潟では下記のロールコール、オンエアミーティングを行っています。

新潟 D-STAR Simplex オンエアミーティング

・日 時: 毎月第一土曜日 21:00 ~

・周波数: 433.300MHz DV

・コントローラー: JR0LOQ (新潟市東区)

※ AMとは対極にある新しいモード DVでのシンプレックス交信を楽しむ。

平成24年12月よりスタート、平成25年8月3日(土)、第9回を実施。

<http://toki599.bbs.fc2.com/>

新潟 6mCW ロールコール

日 時: 毎週日曜日 07:30 ~

周波数: 50.320MHz CW (コンテスト時 50.220MHz へ QSY の場合あり)

キー局: JJ0HYE (新潟市西区)

新潟 6mSSB オンエアミーティング

日 時: 毎月第5土曜日 21:00 ~

周波数: 50.320MHz SSB

コントローラー: JA0FPT (新潟市江南区&移動)

新潟 2mAM オンエアミーティング

日 時: 毎月第2土曜日 21:00 ~

周波数: 144.480MHz AM

コントローラー: JR0DMI (新潟市南区)

新潟 2mSSB オンエアミーティング

日 時: 毎月第4土曜日 21:00 ~

周波数: 144.280MHz SSB

コントローラー: JI0UCU (新潟市東区)

新潟 15mSSB オンエアミーティング

日 時: 毎週火曜日 21:00 ~

周波数: 21.160MHz SSB

コントローラー: JA0BET (新潟市西区)、JR0BYI (胎内市)、JJ0EYL (新潟市北区)

新潟 10mSSB オンエアミーティング

日 時: 毎週金曜日 21:00 ~

周波数: 28.600MHz SSB

コントローラー: JA0BET (新潟市西区)、JR0BYI (胎内市)、JJ0EYL (新潟市北区)

ハンディ機オンエアミーティング

日 時: 随時

周波数: 144MHz 帯・430MHz 帯・1200MHz 帯

ハンディ機で一定の条件(出力、アンテナ、電源等)の元にレポート交換を行う。

平成24年8月～平成25年7月の実績

回数	開催日	キー局	移動地	0エリア(新潟)	9エリア	8エリア	7エリア	1エリア	計
第91回	平成24年8月18日	JGOCJG	新潟市西蒲区 多宝山 (634m)	15局	6局		1局	2局	24局
第92回	平成24年9月15日	JGOCJG	新潟市西蒲区 多宝山 (634m)	19局	2局				21局
第93回	平成24年10月20日	JGOCJG	新潟市西蒲区 多宝山 (634m)	23局	3局			1局	27局
第94回	平成24年11月18日	JGOCJG	新潟市西蒲区 多宝山 (634m)	22局	2局			2局	26局
第95回	平成24年12月16日	JGOCJG	新潟市西蒲区 角田山 (481m)	18局	2局			1局	21局
第96回	平成25年1月19日	JGOCJG	新潟市西蒲区 角田山 (481m)	20局	2局				22局
第97回	平成25年2月16日	JGOCJG	新潟市西蒲区 角田山 (481m)	24局	2局			1局	27局
第98回	平成25年3月16日	JGOCJG	新潟市西蒲区 角田山 (481m)	24局	2局			1局	27局
第99回	平成25年4月20日	JGOCJG	新潟市西蒲区 角田山 (481m)	14局				1局	15局
第100回	平成25年5月19日	JGOCJG	新潟市西蒲区 多宝山 (634m)	26局	3局			3局	32局
第101回	平成25年6月15日	JGOCJG	新潟市西蒲区 多宝山 (634m)	18局	1局				19局
第102回	平成25年7月20日	JGOCJG	新潟市西蒲区 多宝山 (634m)	18局	3局	1局	1局	2局	25局



「3 エリア 50 MHz AM ロールコール」

JL3FIS 堀 和男

1. 美味しい “ロールケーキ？” はじめました

3 エリア 28 MHz AM ファンの皆さんにはすっかりお馴染みのハッピーイベント、毎月最終土曜日夜のお楽しみ「3 エリア 28 MHz AM ロールコール」。

そのコンセプト「明るく！楽しく！元気よく！」に共感したバックアップ・サポート局により、3 エリア 28 MHz AM ロールコールの裏番組を 50 MHz AM でも同時並行で行ったのが本ロールコールの始まりでした。

2011 年 5 月開始以来、参加された皆さんの口コミやハム関連イベントでのアイボール等により、今ではキー局を含め参加者全員が気楽に楽しめるイベントとして多くの方々に認知され、お陰様で本ロールコールも徐々に定着してきています。

2. コンセプトは「みんなが楽しい！」

本ロールコールは、月に一度のハッピーイベントで、キー局もチェックイン各局も「みんなで楽しむ」ことをコンセプトとしています。なかでもこだわっていることの一つとして、RS レポートやOP ネーム・QTH 以外に「使用リグとアンテナの情報交換」を毎回お願いしています。



ハッピーイベント「ロールケーキ」の詳細

名 称：3 エリア 50 MHz AM ロールコール

周波数：50.540 MHz

開催日：毎月 最終土曜日 21:00JST ~

キー局は通常六甲山（神戸市東灘区）や生駒山（東大阪市）から
山岳移動による運用をしています。

聞こえましたら是非コールください。どなたでも大歓迎いたします！

これにより、毎回リグやアンテナを変えてオペレートされる方、万全のセッティングによりベストな変調で臨まれる方、伝搬試験・各種調整・ビンテージリグのエイジング等を兼ねてチェックインされる方、緊急訓練を兼ねてハンディ機で参加される方などいろいろあります。

また、ワッチするだけでも楽しいのは言わずもがな。多種多様なリグの変調音やマイクセッティングの妙を心地よく楽しめるだけでなく、技術的な観点からリグ独自の变調音やアンテナ性能を分析したり、「RjX-601 はやっぱり深い変調でええなあ〜」とひそかに新たな物欲!？の参考にしてみたり・・・楽しみ方はまさに十人十色。

一方、キー局はというと、出来る限りスマートに皆さんに楽しんでいただけるよう、常に心掛けてだけでなく、キー局自身も上記楽しみに加え、チェックイン各局との情報交換や、局数だけを競うような底の浅い「かず遊び」ではなく、時として「ラグチュー」モードに入ったりと、これまた思い存分楽しんでいます。

3. キー局の運用スタイルは「普通の交信」

ロールコールというより、むしろ普通の交信に近いスタイルで進めています。しばしばパイルアップ

ブやラグチューでお待たせすることもあるかと思います。お待たせした局にはさらに長めのお話を・・・などの気遣いによりスパイラル地獄に陥り、局数もなかなか伸びません。

とはいえ、安全運用に支障がない限り、皆さんからのコールが途切れるまでチェックインを受付できるよう、これからも頑張ります。

あくまでも「ハートフルな交信」を楽しむことに重点を置いていますので、今後もこのスタイルでやらせていただければ幸いです。

最近、ICOM IC-7200M(キャリア 15W)、6mH 自作 1ele デルタループで運用することが多いのですが、万が一に備えて予備のリグ・アンテナ・バッテリー電源システムを常備していますので突然のトラブルにも耐えるよう配慮しています。

4. 運用場所は六甲山を中心に

通常は、大阪平野を一望できる標高約 892m の六甲山頂付近(神戸市東灘区)から山岳移動運用しています。大阪近郊でしたらハンディ機やQRP運用でもモバイルホイップでも大丈夫かと思います。

標高にも恵まれ2・4・5エリアからもたびたびチェックインいただいています。

また、今までには六甲山に加え、生駒山あるいは三国山からの複数キー局による多元運用のほか、大阪市中央区のマンションからの運用(海拔約 25m + アンテナ 43mH)などもありましたが数のノルマなど一切ないのでキー局も気軽に楽しんでいます。

しかしながら月イチとは言え、毎回の山岳移動はさぞや負担で義務感にかられて止むなく？と思われるかもしれませんが、サポートスタッフにとっては、月イチの懇親会？であったり、アウトドア用品・非常用備品実地訓練の絶好の機会であったり、しばしば応援や見学に駆け付けてくれる訪問者もあったり、実は月イチの大きな楽しみでもあります。

昨年 12 月 29 日のロールコールでは、関西へ帰省中の 1 エリア在住 JE3NJZ・皆田OMが六甲山上のロールコール班に合流。極寒の中あんなこんなの無線談義、さらに JE3KMZ・竹生OMと JG1DWT・中上OMも“ドッキング”してさらに盛り上がり、帰宅は明け方ということもありました。

5. サポートスタッフの皆さん(敬称略)

JL3FIS 堀

JO3USP 所

JE3KMZ 竹生(タケフ)

JF8VEU 工藤

JG1DWT 中上

JE3NJZ 皆田(カイダ)

J13BDA 山田

<3エリア 28 MHz z AM RC と相互協力>

JF3LFL 今西

J13SJU 前山



大阪平野を一望できる絶景の地から QRV。3 エリア 50 MHz z AM ロールコールのすぐ隣で運用する 3 エリア 28 MHz z AM ロールコール・キー局のモバイルシャック



6. 今後の野望? など

- 他エリアのロールコールと交流ならびに価値観を共有するみなさんとの親交を深め、コラボレーションすることによって 50 MHz z AM の楽しみを継続できる基盤整備ができないかと、壮大なこ

●関西アマチュア無線フェスティバル(関ハム)でお馴染のおもしろブース「大阪パチモン商会」でアイボールスペースを用意し、ロールコールチェックイン各局の交流をサポートしました。多分来年も!?

を考えています。

- キー局をやってみたい方、キー局運用見学を希望される方、是非こちらまでご連絡ください。

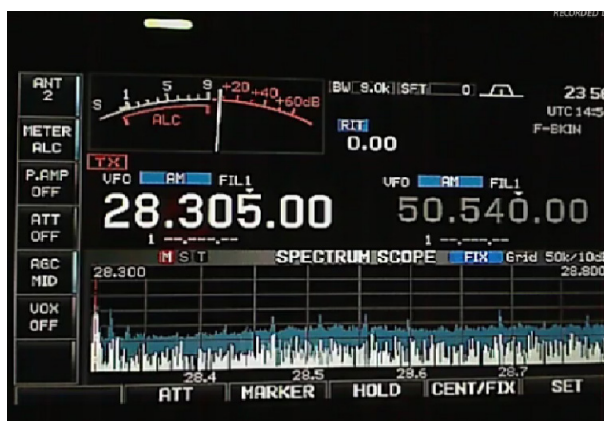
<連絡先> JL3FIS@jarl.com 堀まで

7. 終わりに

おかげさまで、最近では毎回 30 ～ 40 局の皆さんからチェックインがあります。表番組の 3 エリア 28MHz AM ロールコールと合わせると 100 局をうかがうことも多々あり、3 エリアでは最大級のイベントとなっています。

これからも、キング・オブ・ホビーと称されるアマチュア無線の醍醐味を心地良く味わえる場として、本ロールコールをみんなで盛り上げていきましょう！

2013 年 6 月 20 日
de J L 3 F I S 堀

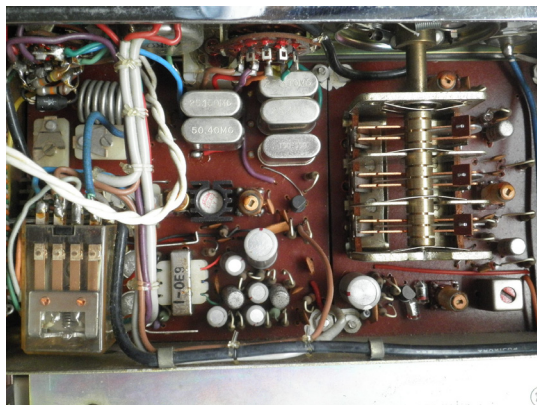


ロールコール運用中の筆者

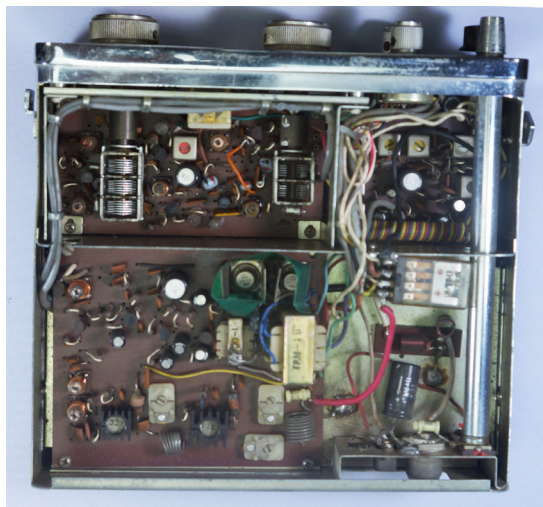
- 3 エリア 28 MHz AM ロールコールで大変好評の USTREAM 実況配信および録画配信を、本ロールコールでも実施すべく準備中です。

<配信予定 URL> <http://www.ustream.tv/channel/rc50am>

懐かしい AM 無線機 - 井上電機製作所 -



FDAM2 の内部



FDAM3 の内部

SP-MIC conBOX for FT-817

JH70ZQ/1 荒井 克典
千葉県鎌ヶ谷市在住

FT-817 用マイクコンプレッサー内蔵スピーカーマイク 接続ボックスの概要

- ・汎用スピーカーマイクを使うための接続ボックスです。
- ・簡易マイクコンプレッサーを内蔵しています。
- ・現在入手可能な材料を採用しました。
- ・本体を開いて改造したり、裏コマンド設定はしません。
- ・AM 送信時の変調を実用レベルで安定させます。
- ・オリジナルの脱着しやすく壊れにくい取付方法です。
- ・気にならない程度の大きさです。
- ・PTT ノイズによる SA2011 のゲイン低下は LED 放電回路で
実用範囲に回復させています。



写真1 完成品

はじめに

FT-817 は小型で多様な運用の希望を満足させてくれるリグなので、移動運用のために所有されている方も多いでしょう。なのに、このリグで AM の運用をされた方であれば、変調のかかり具合にストレスを感じているのではありませんか。当然のごとく私も購入して間もない頃は、どうかしようとしていろいろメニューを操作して調整を試みましたが、結局のところ調整では思ったようにいい感じにはなりませんでした。しばらくはあきらめていたのですが、最近になって原因究明や本体の改造などをせずに、とりあえず「そこそこいい感じにする手軽な小物」を思いつきました。3 × 4cm 厚さ 2cm の小さな箱は、FT-817 運用の楽しさを広げるもう一つの提案です。気になるといえば本体との比較で大きく感じる純正マイクです。そこで身近にあるスピーカーマイクをそのままプラグも切るのがもったいないので接続ボックス化しました。こうすればマイクを変えて楽しむことも出来ますから私は好きですが、プラグを切ることで躊躇しなければ、ジャック代の 200 円程度の節約ができるでしょう。どちらの場合もスピーカーマイクは一般にコンデンサーマイクを使っているの、ダイナミック型よりも少し高い音まで聞こえるようになります。これで AM モードで気になるこもった感じの音は解消です。さらに、小さな箱の中にはコンプレッサーを内蔵しています。音声信号をある程度一定にしますから、音の割れた感じが減り、このことは ALC が強く動作してキャリア出力が一時的に低下する現象もほぼ解消することになります。

ケース：この接続器の構造上でとても大事な部分です。見た目も使いやすさも性能にも影響しますので、慎重に加工をします。回り込みなどの心配を減らすため、ケースはタカチ ESW-40B という内部にメッキシールドしたものを 사용합니다。2mm 程度のドリルで下穴を開けた後、目的の大きさの穴に加工をします。モジュラージャック用は丸穴を複数あけてから目的の形にやすりで削り、少しきつめになるように仕上げます。

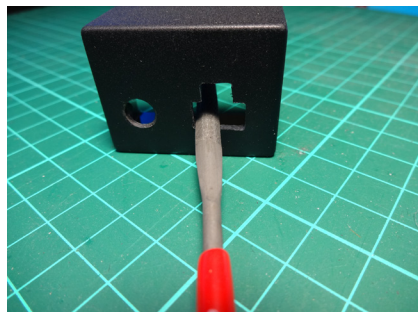


写真2 モジュラージャック用穴加工

図1 ケース加工図



ケース外形30×40×20(蓋付)

スピーカープラグ取付部分は M8 タップでねじ加工します。プラグカバー取付ねじはピッチが違うため途中でできつくなりますが、固定するには好都合です。



写真3 スピーカープラグ用ネジ加工

プラグとジャック :3.5mm スピーカープラグの端子部分を短く切りケースに取り付けます。その後リグに差し込んで確実に挿入出来るよう調整します。

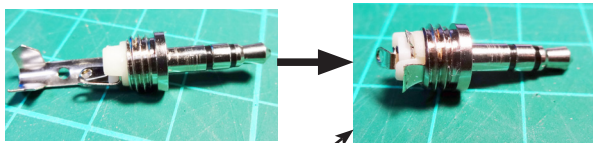
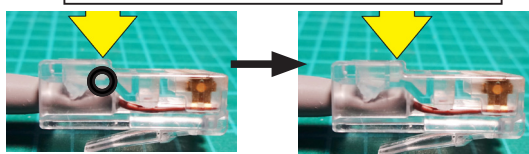


写真3 スピーカープラグの加工

モジュラープラグは写真の矢印○部分をやすりで削り、ケース内部からリグ本体に確実に挿入出来るようにします。



また、3.5mm ジャックがボックスの時は、ふたと接触する部分をやすりで削ってからねじ止めます。



写真4 モジュラージャックの取付加工

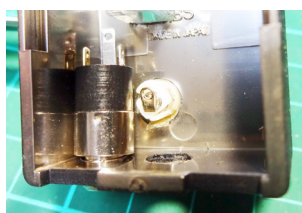
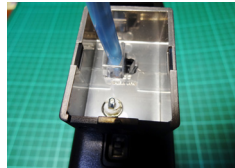


写真4a スピーカージャックの取付

スピーカーマイク用のジャック部分は、はじめに 3.5mm ジャックをねじで固定したうえで 3.5mm プラグと配線します。

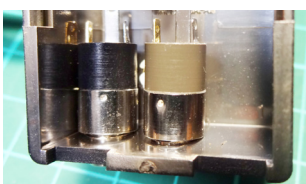
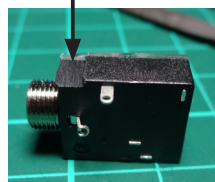


写真4b スピーカージャックの取付



回路製作

FCZ の IC 用基板を 9 つランドをつけて切ります。 リードの細い部分を切った TA2011 を基板にはんだ付けする。

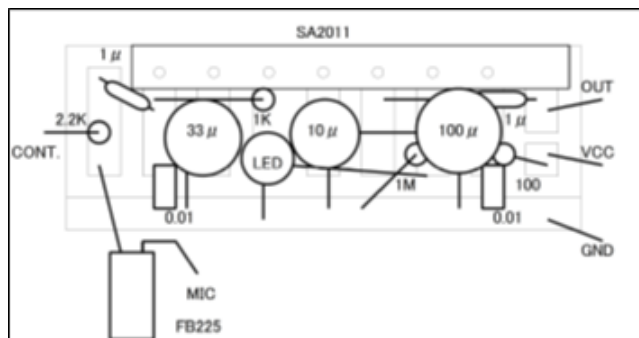


図2 基板上の部品配置

IC の 3 番ピンから抵抗器 1k をはんだ付け。次は、チップ型コンデンサ 0.01μ を 2 個共はんだ付けします。その他の部品は配置図を参考に、すき間無くはんだ付けして回路基板を完成させます。常にケースの空間を意識して、高さや幅を考えて手に入れた部品の大きささしで配置を工夫します。電源供給、出力調整ボリュームに接続するコードなどを取り付けます。

リレー回路は端子部に図のように部品を配置し、半田付けします。

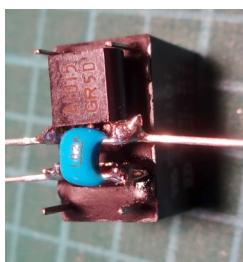


写真7 リレー上に取付けられた部品配置

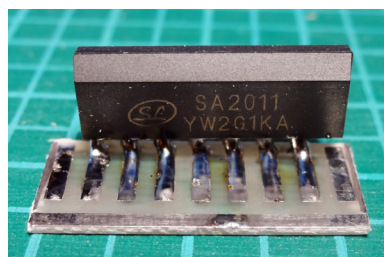


写真5 TA2011 の取付



写真6 基板上の部品

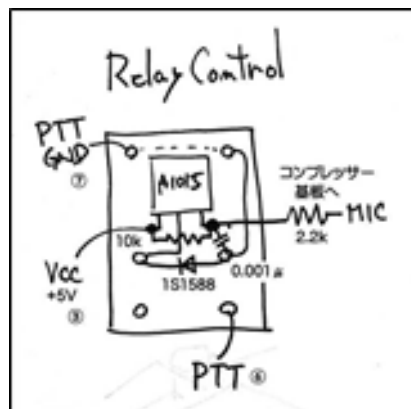


図3 リレー上の部品配置

図 6 回路図

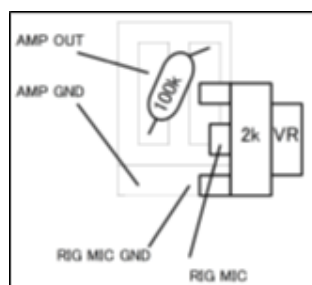
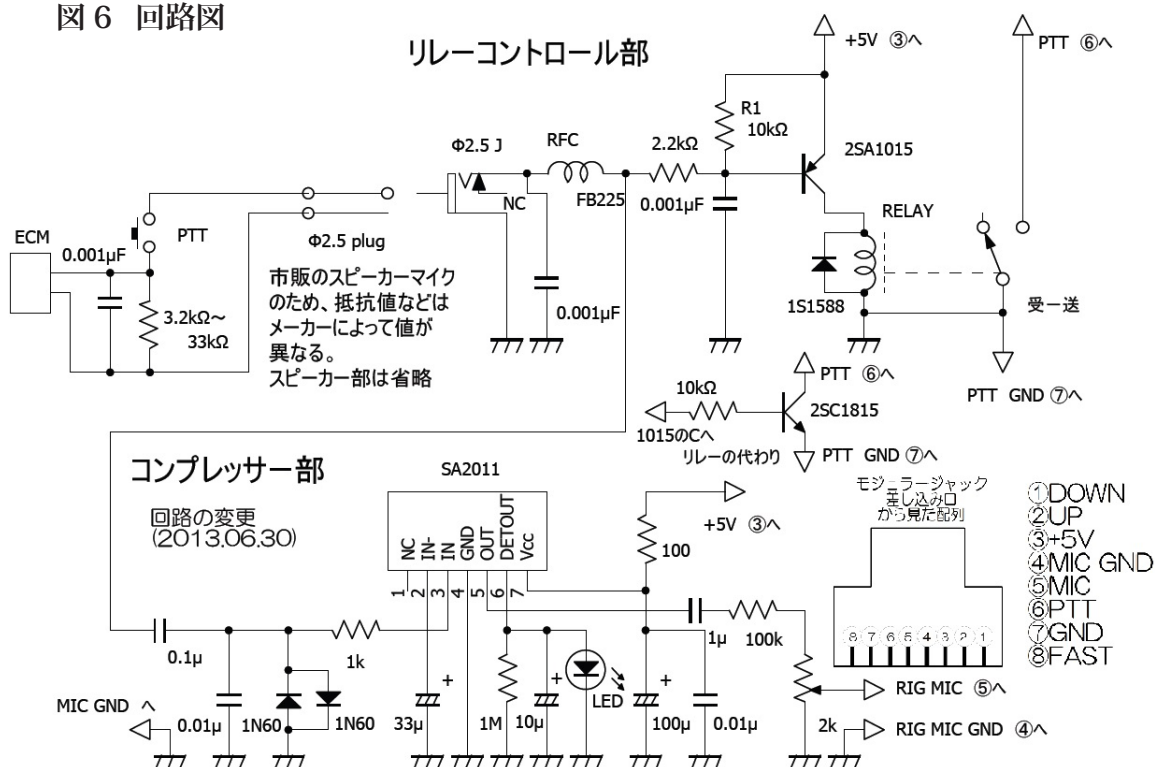
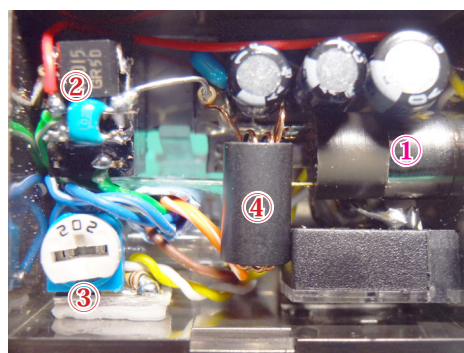


図 4 出力調整 VR の配置

出力調整部 (図 4) を組立たら全部の基板をケースに収めます。

- ① アンプ基板
- ② リレー部
- ③ 出力調整部
- ④ 最後に FB-255 に 0.3UEW 線を通し RFC を作り、取付けます。

写真 8 基板の配置状況



調整及び取付取外し

6mAM 最小出力で MTR を 5 秒間隔で押したとき、操作音で出力低下しないように VR を調節します。取付ははめるだけ、外す時はカード⑤をすき間に差し込みます。(電源は OFF)



写真 9 取付



写真 10 運用時



写真 11 取外し



写真 12、13 富士山五合目にてオペアンプ型実験

写真 14 堂平山にてクリップ型実験

おわりに

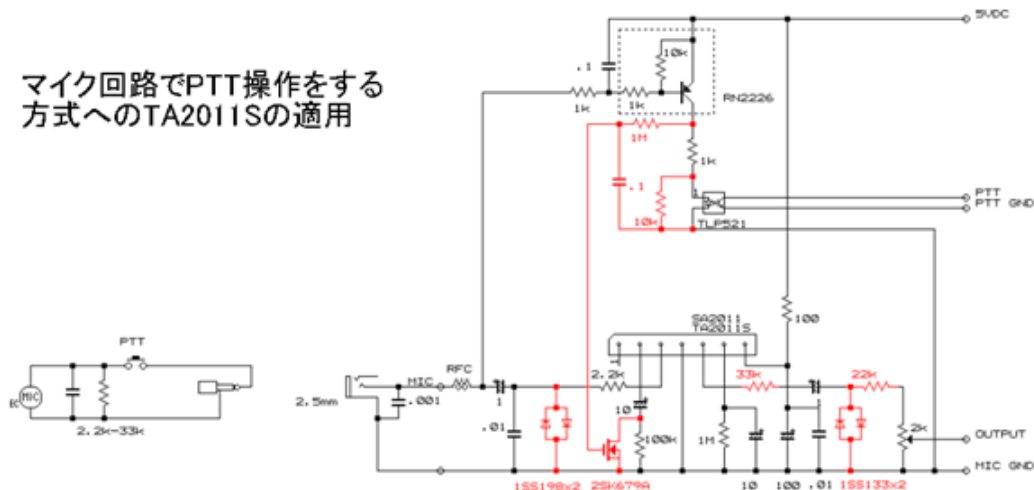
2012年のハムフェアでは、この接続器を持参し幾人かの方とお話することが出来ました。その時はまだ資料としてまとめられるもので無かったのですが、それでも興味を持って頂いた方から作ってほしいとまで言われて、パッケージングとして間違っていないと思い、その後も内部の回路などの工夫を続けました。現在の回路に至るまでには、1石マイクアンプ、秋月オペアンプ、ダイオードクリップ、SA2011で増幅しすぎない？定数、SA2011で自然にゲインが変化する現在の仕様へと変化してきました。それぞれ、交信していただいた方のレポートや、ご連絡下さった方のデータなども参考にして、最終的にOZQ型としています。回路の設計は簡単に作ろうとして、持ち合わせの技術と寄せ集め回路で出来ているため、詳しい方が御覧になるとなんで？と思われるかも知れませんが、アマチュアなのでご容赦下さい。現在の回路にした際、スピーカーマイクのPTTを押したときに発生するポップノイズで、マイクアンプICのALCが強く働きゲインが長時間下がりました。これは送信開始の言葉2つ程度が聞こえないくらいの長さでした。私の場合は発光ダイオードを使ってしきい値以上のALC電圧を逃がすという簡易な方法で、実用上で支障ない程度に回復させています。

AM変調の係具合やいろいろな実験動画は、JH7OZQのホームページとYouTubeにて御覧いただけます。TA2011Sの対策として別の方法をJA1VZV水上氏が、ご自身のホームページで発表されていますので、ご本人の了解を得て以下にポイントと回路図を紹介させていただきます。

対策のポイント

- 1.PTT操作による大きなノイズをクリップして影響を軽減する
- 2.ノイズの発生する期間、ICの利得を下げてALCへの影響を防ぐ
- 3.TA2011SのALCが効くまでの間、大きな信号が抜けるので出力側クリップ回路でピーク制限する。

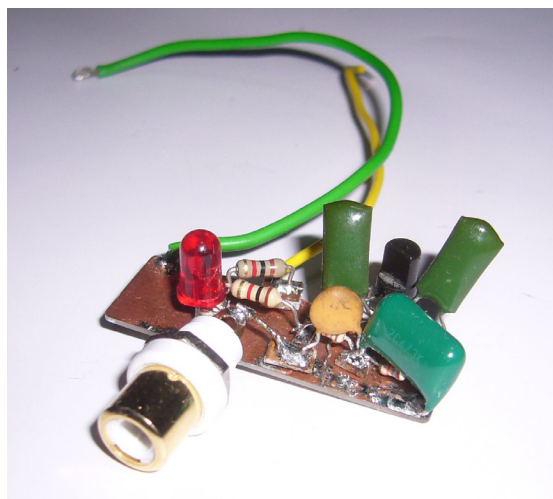
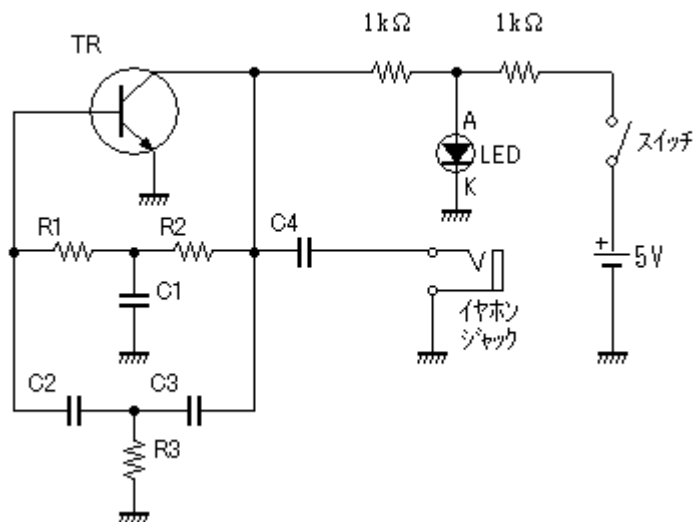
マイク回路でPTT操作をする 方式へのTA2011Sの適用



JG2VSF 大鐘智巳
名古屋市中区東区在住

ツイン T 回路図

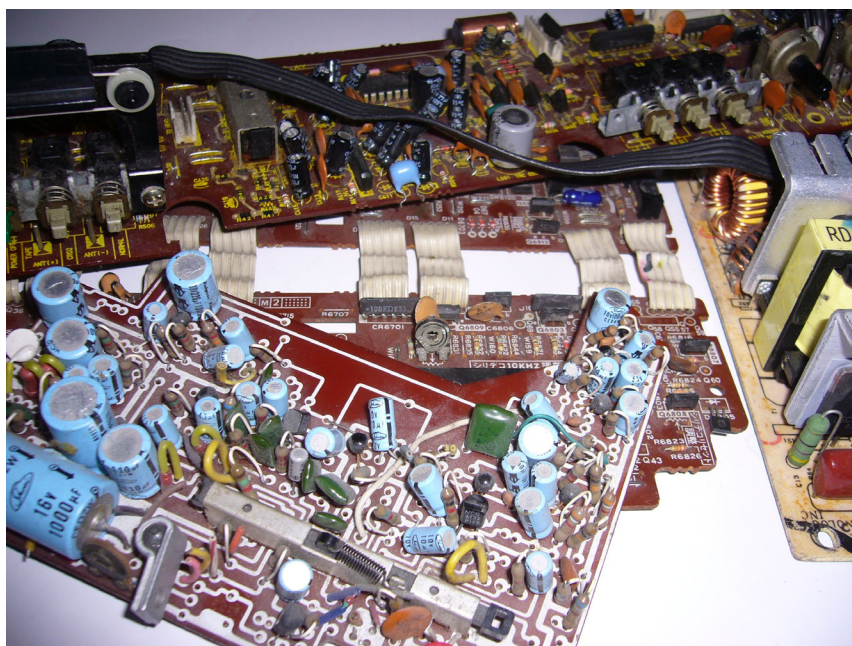
(抵抗やセラコンの単価は、そんなに高くないから、それなりに揃えた方がいいのでしょうか)。
 ということで、ジャンク基板とにらめっこになるのだが、希望の定数なんて簡単に見つからないよね。
 最終的に 794Hz まで追いついたが、カット & トライには 4 日も費やしてしまった。
 ツイン T 如きに 4 日もか、あとで知ったのだが、R3 を可変抵抗にしておけば、周波数が調整出来る



800Hz 発信器

らしいですね。定数が分かれば、固定抵抗に置き換えればいいのだしね(勿論そのままでも OK なのだが)。
回路知識が乏しいので、余分に時間がかかるのは仕方がないか。
今は、ほぼ 800Hz に追い込んだことに満足してしまい、そこから先に進んでいない。
ジャックも付いていないし、ケースも未加工、そもそも A2A を出す時に送信と受信を切り替える
回路もまだ考えていない。
実際に電波が出るのは、いつになるのだろう・・・・・・・・・・。
※部品には誤差がありますので、同じ定数で作っても 800Hz にならないかもしれません。
数値は参考程度にとどめてください。

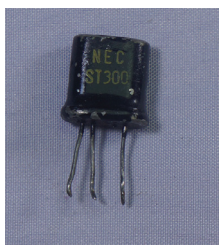
R1,R2 18k Ω
R3 33k Ω
C1 0.047 μ F
C2,C3 0.015 μ F
C4 0.01 μ F
TR 印字の消えているジャンク Tr 使用 (NPN)
LED 赤色



宝の山ジャンク基板

ジャンク箱より

1961 年頃購入した
トランジスタ ST300



オイル缶入りパワートランジスタ 2N301



サイズ 81 × 50 × 120
Germanium powerTr Max-Ic.1.5A at25°C

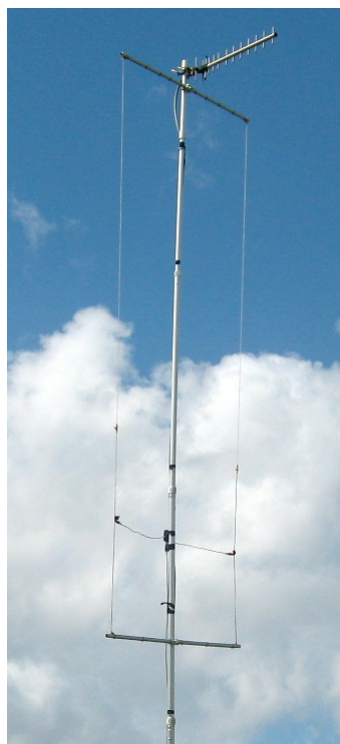
『復活ハム、ヘンテナ製作にハマる』

J01UBD 丸山裕二

東京都葛飾区在住 (2010 年再開局)

■ヘンテナ製作の契機

昨年のハムフェア会場で、JARL QRP CULB 主催のヘンテナコンテストを知り、中学生の頃に一回作ったので何とかできるようと軽いノリで製作に着手しました。ヘンテナは 6m 用として、縦 3m/横 1m の寸法で取り掛かりました。まず試作機としてオーソドックスなスタイル、上下の水平エレメントはアルミパイプ、それらをループ状にする垂直エレメントと給電部を空打線で仕上げました。また、容易に分解/組立てができるように、接合部は圧着端子をホースバンドで締め込む方法で作りました。バランは Calkit の『スーパーアンテナバラン』を使用しました。一応は完成したのですが、VSWR 調整は意外と難しく、数十回の上げ下げをして、また、再組立て時の再現性が悪く、移動運用の度にアンテナアナライザーを必要としていました。【写真 1】



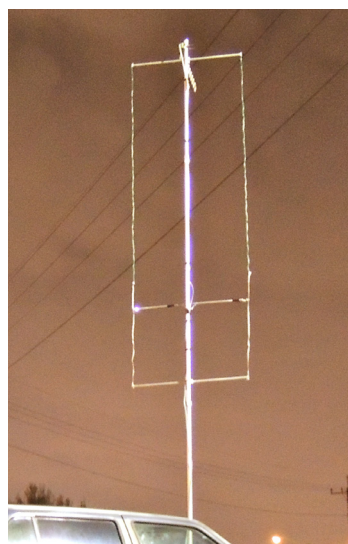
【写真 1】1 号機

◆改良 (2 号機の製作)

ヘンテナコンテストが迫っても、VSWR の追い込み (1.5 前後) と再現性の改善は依然と進まず、時間切れと諦めて 2 号機の製作を始めました。2 号機は、上下の水平エレメントのパイプ径を 15mm 径へ細めて、また、垂直エレメント (2m の IV 線 + 1m の空打線へ変更) との接続部はネジ留めとしました。また、給電部の水平エレメントは、空打線から細いアルミパイプへ変更しました。これは直線だけで構成されたヘンテナ形状に美しさを求めためです。この 2 号機は、事前に VSWR 測定や試験運用するなくコンテスト当日になり、万が一の事を考えて、予備として 1 号機や、マッチング用コンデンサを数種類持ち込みました。

■初めての实战 (ヘンテナコンテスト / ACAG コンテスト参加)

移動運用場所は、筆者にとってはレアな埼玉県鶴ヶ島市に決め、Google マップで運用できそうないくつかの候補場所を決めてから向かいました。第一候補場所は工事通行止めのため進入できず、仕方無く通行止め箇所の関越道横の空き地で設営を行いました。ヘンテナ組立て後は、VSWR が 1.1 に一発で決まりました。これまでは数回の上げ下げをしての調整を覚悟するのですが、設計値通りになるのは気持ち良いものですね。さっそく Rig に繋ぎバンド内をワッチすると、ちょうど 7K3DIW 佐藤 OM がヘンテナコンテストに備えて調整運用中でした。さっそく QSO をお願いして 2 号機 1stQSO となりました。【写真 2】



【写真 2】2 号機

■EEF 型ヘンテナに挑戦 (千葉コンテスト参加)

ACAG での運用課題として、給電部の低さを感じましたので、単純なポール長の延長など何か改良は出来ないものかを検討していました。

その際に 6mAM.com の BBS で JH2EEF 加藤 OM に指導頂きまして、EEF 型ヘンテナ (この名称は筆者の勝手な呼称です) の製作に取り掛かりました。EEF 型ヘンテナの利点は、取り付けポール長を有効利用できる事です。例えば 6m のポールに対して 1 ~ 2 号機の給電部は地上高約 3.3m になりましたが、

EEF 型ヘンテナではポール最頂部の 6m になります。ポールを変えずに給電点が改善できる FB な

取り付け構造です。ただし、ポールとの固定箇所が減りますので、工作精度により綺麗に垂直に立つかどうか左右されます。特にアルミパイプに対して貫通穴を開ける際に、ボール盤が使えれば良いのですが、アパマンゆえにベランダ工作のためハンドドリルで穴開け加工を行いましたので、加工精度は良くありませんでした。垂直エレメントは仕舞い寸法を考慮して、12mm 径 / 1m 長のアルミパイプを 3 本連結し、連結箇所には 10mm 径のアルミパイプを短く切って芯として、ネジ留めの構造としました。この 3 号機は、試験運用の時間がなくコンテスト当日を迎えました。組み立てた結果は写真の通りで、パイプ貫通穴の誤差により上手く垂直には立たない状態でした。アンテナ全体の工作精度を高める事が EEF 型ヘンテナの肝であり、ベテランとビギナーの差が出るところです。加藤 OM の製作された写真を拝見すると、綺麗に垂直に建った姿が羨ましく、逆に目指すゴール地点＝同等まで改善する目標が出来ました。【写真 3】【写真 4】



【写真 3】ベランダ工作

■垂直性を改良 (1 エリア AM コンテスト参加)

垂直性向上のためにポールとの接続箇所を 2 箇所に増やして、工作精度の悪さはアルミパイプ自身の柔軟性を利用してカバーしました。具体的には、ヘンテナの下部水平エレメントとポールとの間に接続箇所を追加します。この箇所では、アルミパイプにヒシチューブを巻いた絶縁加工を行いました。絶縁の有無と特性の変化については、今後追試したいと思います。この 3 号機改ヘンテナは、十分に試験運用を行うことが出来ました。その際に給電部に接触不良が発生したため、塩ビパイプの加工で改善したくらいで、その他不具合もなく、実用性は十分です。仕舞い寸法が約 1m です。電車 / バスによる移動運用でも利用できると思います。こうして万全に備えて望んだ 12 月の 1 エリア AM コンテストでは、ノイズレベルが高い悪コンディションでしたので、得点には結びつきませんでした。【写真 5】

■現在の課題

今年の 6m 移動用アンテナは EEF 型ヘンテナ (3 号機改) のみを使用して、ALL JA、QRP Sprint、オール群馬などに参加しました。このヘンテナには大変満足していますが、筆者の至り無さのため VSWR が若干高い点が改善課題として残ってます。今後も引き続き改良してゆきたいと思います。今のところバランによる整合を検討しています。【写真 6】

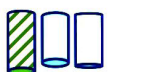
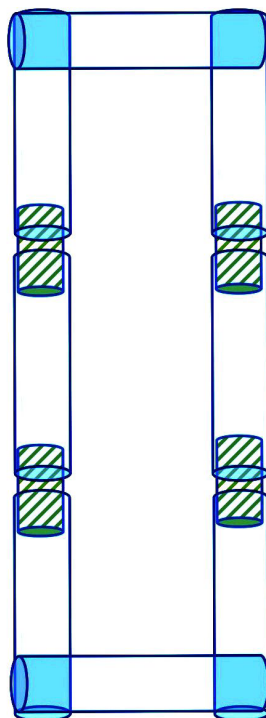
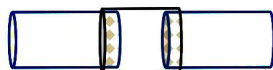
■最後に

6mAM に自作 QRP 機で QRV した次のステップは、アンテナ製作ではないでしょうか。自分で作った Rig やアンテナで QSO する楽しさは格別です。復活 HAM の皆様も、HAM の新しい楽しみ方を追求してみませんか。加藤 OM を始め OM 諸氏のご指導にお礼申し上げます。

【図 1】【図 2】【図 3】



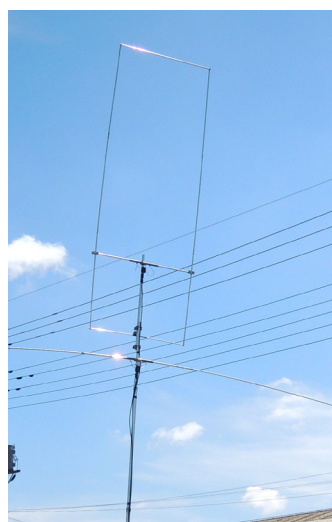
【写真 4】EEF 型ヘンテナ



アルミパイプ(肉厚 1mm)
 外径 10mm : 1,000mm 物を 1 本(4 分割して使用)
 外径 12mm : 1,000mm 物を 8 本
 外径 15mm : 1,000mm 物を 1 本(2 分割して使用)
 塩ビパイプ(水道用の既設規格品)
 内径 15mm : 300mm 程度(任意)



【写真5】 3号改



【写真6】 QRP Sprint

図 1(3 号改の組立概要)



図 2(3 号改の特性)

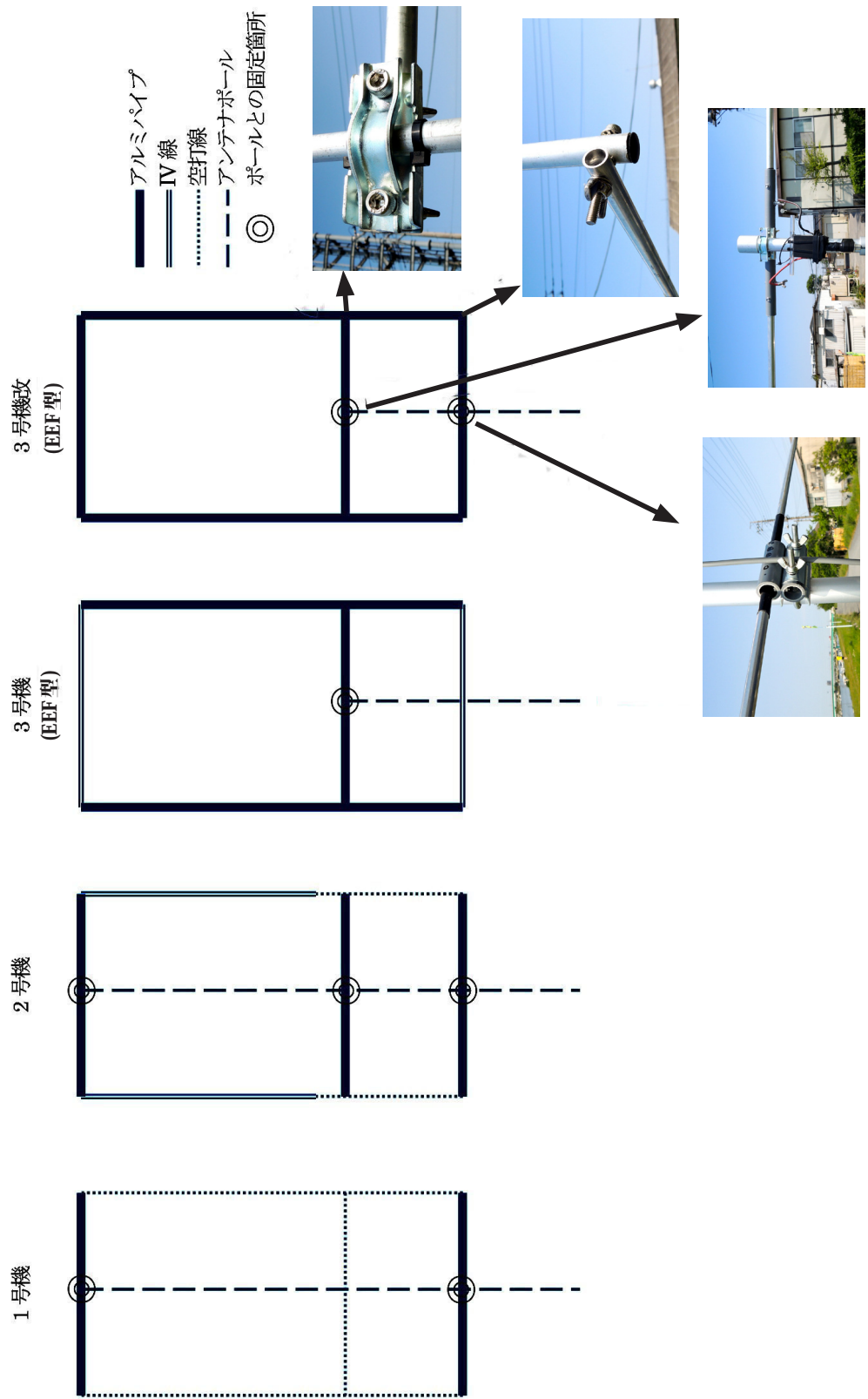


図3(製作したヘンテナ概略)

『屋根上に浮かぶ垂直アンテナ製作』

JA4AMV 丸山 彰良
埼玉県北本市在住

◎はじめに

アンテナの設置場所として屋根の上は住宅の最も高い位置にあり、最適な場所といえますが近年、太陽光発電パネル付やデザイン重視で急斜面の屋根もあり、ルーフタワーの取り付けが困難な場合があります。当局も以前ルーフタワーを使用していましたが、安全面からしっかりとタワーを固定したいところ、あまり強固にすると屋根に荷重がかかりすぎ瓦を傷めるのではないかと心配でした。しかし2階家のでっぺんは7～8mもありアンテナ設置には有効なスペースにちががなく、その後、屋根上利用の再見直しを行いました。そこで今回は大地を基礎としたタワーと組み合わせ、建物には負荷を掛けない屋根上ANTをご紹介します。

◎屋根上ANT製作の意義について

ANTの自作ではマッチングが大切です。即ちANTを目的周波数に共振させた状態でケーブルインピーダンスに変換させる作業で、給電点でこの作業を行えば理想ですがタワーに登った姿勢では大変疲れます。いっぽう屋根の上は足場が不安定になりますが作業スペースが広く普通の立ち姿勢で行えるのが特徴です。今回ご紹介する当局の設備は、屋根上で設置と調整を行うことから給電点は約8m、取り付けのANTは軽量のタイプと制限されますが長時間じっくりとANT調整をすることができます。

◎タワーからの水平アーム取り出し

タワーの途中から2階家屋根にめがけて水平アームを伸ばし、先端部を垂直アンテナの給電点とします。この位置は屋根でっぺんに立ち作業分を加えた高さが適当です。そしてタワーからはこの高さからアームを伸ばします。問題はタワー本体から高さや方向にマッチした取り付け穴が確保できるかどうかですが、当局では敷地内に2基の支線式タワーを使用しています。

- ・1基は4角タワーで各段のジョイント部とその間にも支柱をささえるL型水平材があり、ここを利用し約40cmごとに取り付け高さを選べます。ここに4角の水平プレートを用意し、方向に合わせたUボルト穴を設けました。アーム長は約3mでエレメント2mの29MHz FM用GPが装着されています。
- ・もう1基の3角タワーはスパン約2.4mあり、希望の高さと方向はジョイント部のボルト穴を利用できません。この為タワー本体から目的高さにある斜め材パイプ2本を取り外し、足場パイプ軸の中心部にこれを入れて両端のボルト穴を残し、コンクリートで固めました。そしてタワー支柱に再取り付けし、外側の足場パイプに自在型クランプを取り付け、片方を水平アームに接続しています。実際の取り付けは写真の通りですが、クランプ位置を動かせばある程度方向を選べます。アーム長は約4mでエレメント2mの24.5MHz GPが装着されています。



◎ANT取り付け部の構造

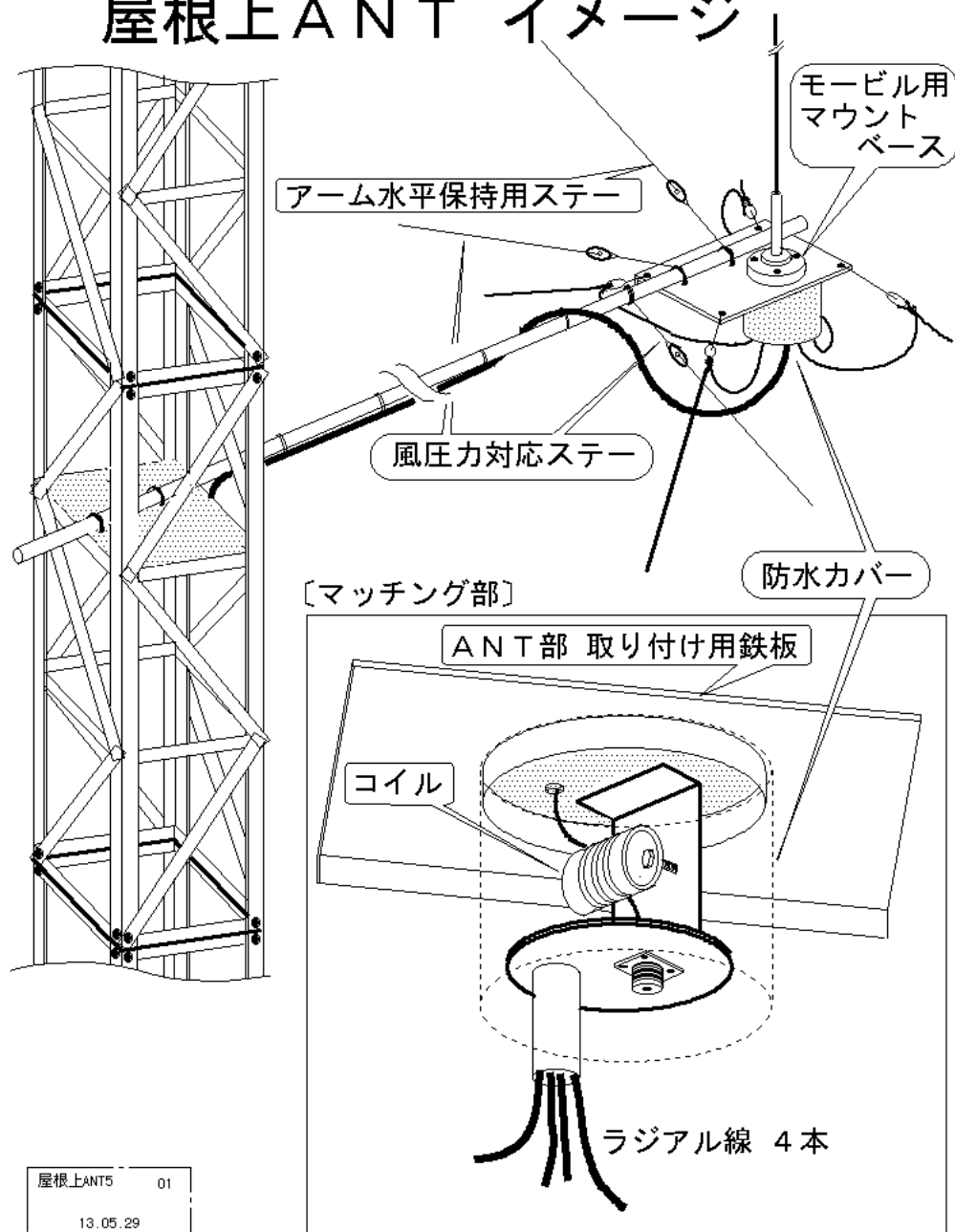
アーム先端部にはUボルトで水平板を設け上面に垂直ANTの基部、下面には空き缶利用のマッチング部があります。しかしながらこのままだと自重で大きく垂れ下がってしまい、ここからタワーに向けて補強用ステーが必要です。また、風圧力に対しては別のワイヤー2本で支えています。垂直エレメントからのANTリードは空き缶のフタ内部に設けられたマッチング部に導き、空き缶の円筒部底はくり抜いてここをケーブルとラジアルリード4本を通過させる構造で、調整時は円筒部カバーを両手でよじって取り外します。



◎まとめ・補足事項など

- ・今回ご紹介例ではクランクアップやエレベーター式タワーにおいては可動部があるので途中からアームを出すこの案は実施が困難になります。
- ・日常保守としてはアームを水平に保持するステーの張り具合のチェックが大切であり、またアーム先端部材の再塗装など何回か行っています。
- ・今回ご紹介したANT設備2組は約15年使用しています。アームの基部はタワーにボルト締めですので強度がありますし、この年月の際に曲るような事例は起きておりません。

屋根上ANT イメージ



分布定数線路上のインピーダンスの変化

JAOBET 齋藤 俊治

新潟市西蒲区在住

分布定数線路上のインピーダンスの変化

スミスチャートを利用して作った「アンテナ診断シート」(スミスチャートの原点 1.0 を 50 Ω にし、SWR 円とインピーダンス絶対値 (Z) 円弧を加筆し、(Z) をレジスタンス (R) とリアクタンス (X) に分解可能にしたグラフで C Q 誌 3 月号 P-139 掲載) を使って同軸ケーブル越しの SWR・Z・R・X 実測値とアンテナ直下の実測値・推定計算値の関係について検証実験した結果を報告します。 最初の実験は周波数 29.0MHz における自作 V 型ダイポールアンテナ直下の SWR・Z・R・X を測定し、準備した 1/16 λ・2/16 λ・4/16 λ・8/16 λ の 4 本の 3D-2V ケーブルを使い、1/16 λ～8/16 λ (1/2 λ) までを 1/16 λ 毎にケーブル越しの SWR・Z・R・X を測定し、「アンテナ診断シート」にプロットします。 同軸ケーブルの 3D-2V の長さ (同軸ケーブルの長さは 300/29【波長】* 0.67【3D-2V の波長短縮率】* [1～8]/16 とした。)

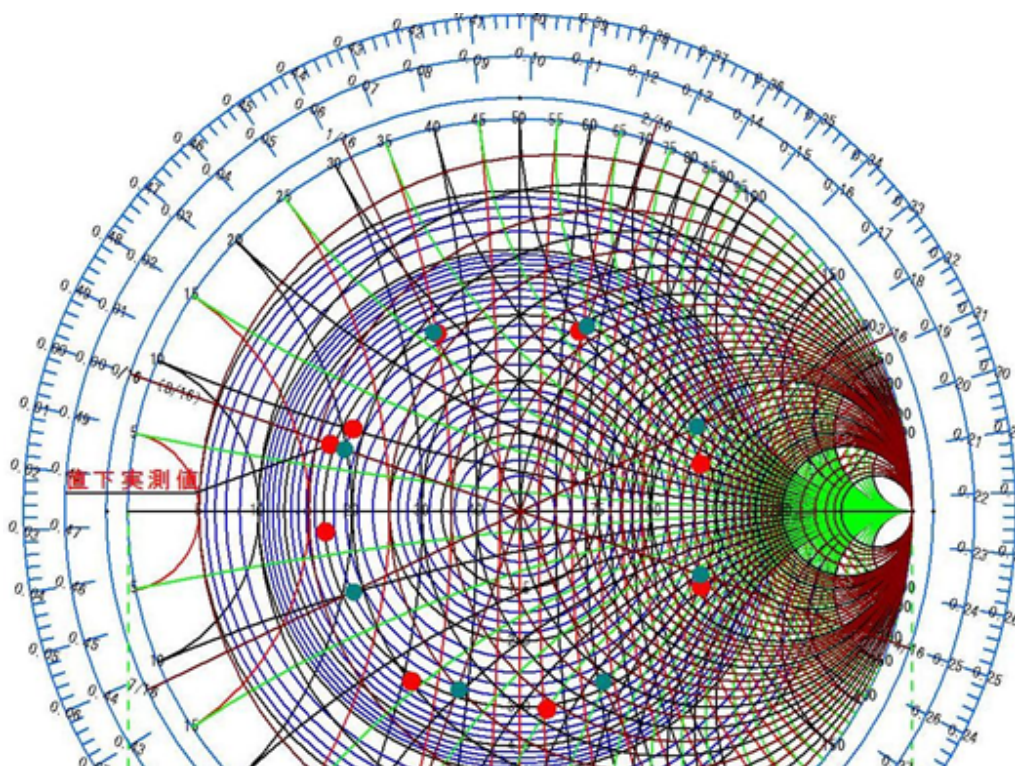
	1/16 λ	2/16 λ	3/16 λ	4/16 λ	5/16 λ	6/16 λ	7/16 λ	8/16 λ
長さ (m)	0.43	0.87	1.30	1.73	2.17	2.60	3.03	3.47
同軸 No	1	2	1+2	3	3+1	3+2	3+1+2	4

実験の条件としては

- ①アンテナ地上高は直下の測定が可能な約 1.5 m とし、向き高さとも実験終了時まで固定状態とする。
- ②アナライザーは (X) 値も表示可能なリグエキスパートジャパンの A-54 を使用する。
- ③同軸ケーブル 3D2V の波長短縮率 0.67 と 30MHz における 10m 当り減衰量 0.77db は JARL 資料より採用した。
- ④アンテナ直下の実測値は SWR3.1・Z=3.1 Ω・R=16.7 Ω・X=+7.2 Ω であり、これを JE3HHT/ 森さんのアンテナシミュレーションソフト MMANA のオプション機能分布定数線路で計算した各波長越しの値と実測値を下表に示します。【表 1】

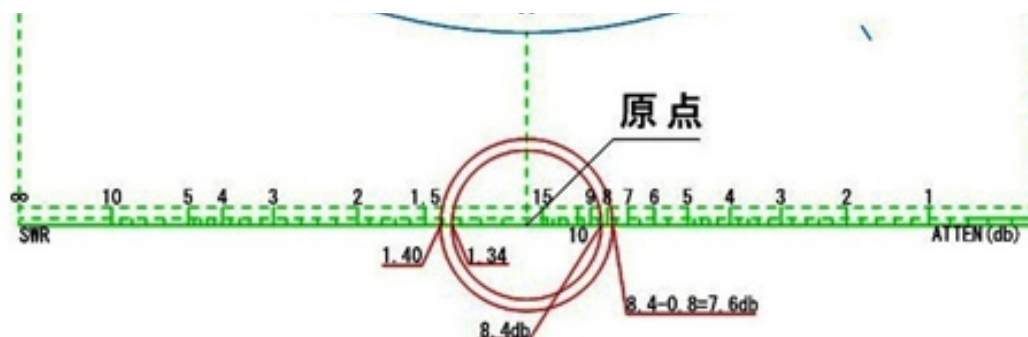
測定位置		減衰量	MMANA分布定数線路計算値				実測値			
λ		db	SWR	Z	R	X	SWR	Z	R	X
0/16 λ	0.0000	0.000					3.1	18.2	16.7	7.2
1/16 λ	0.0625	0.033	3.0	34.3	21.9	26.4	3.0	35.2	22.7	27.0
2/16 λ	0.1250	0.067	3.0	64.7	40.1	50.8	2.9	64.5	40.4	49.8
3/16 λ	0.1875	0.100	3.0	121.9	105.0	62.0	2.8	131.4	124.8	40.2
4/16 λ	0.2500	0.133	2.9	133.0	123.1	-50.4	3.0	129.0	114.1	-60.8
5/16 λ	0.3125	0.167	2.9	72.4	47.6	-54.6	3.1	56.7	33.9	-45.5
6/16 λ	0.3750	0.200	2.9	38.8	24.8	-29.9	3.1	31.2	20.5	-23.6
7/16 λ	0.4375	0.233	2.9	21.1	18.4	-10.3	3.0	16.9	16.6	-2.6
8/16 λ	0.5000	0.267	2.8	19.4	18.1	7.1	2.8	21.4	18.6	10.3

これを「アンテナ診断シート」に実測値が赤丸で、計算値が青丸でプロットすると次のようになり、1/16 λ・2/16 λ・4/16 λ・8/16 λ で計算値と実測値の位置のズレは少ないように見えますが、3/16 λ・5/16 λ・6/16 λ・7/16 λ では計算値と実測値の位置のズレは大きいようです。推測ではありますが後者は複数のケーブルを接続コネクタでつなぎ合わせたものでこのあたりに原因があるような気がします。【チャート 1】



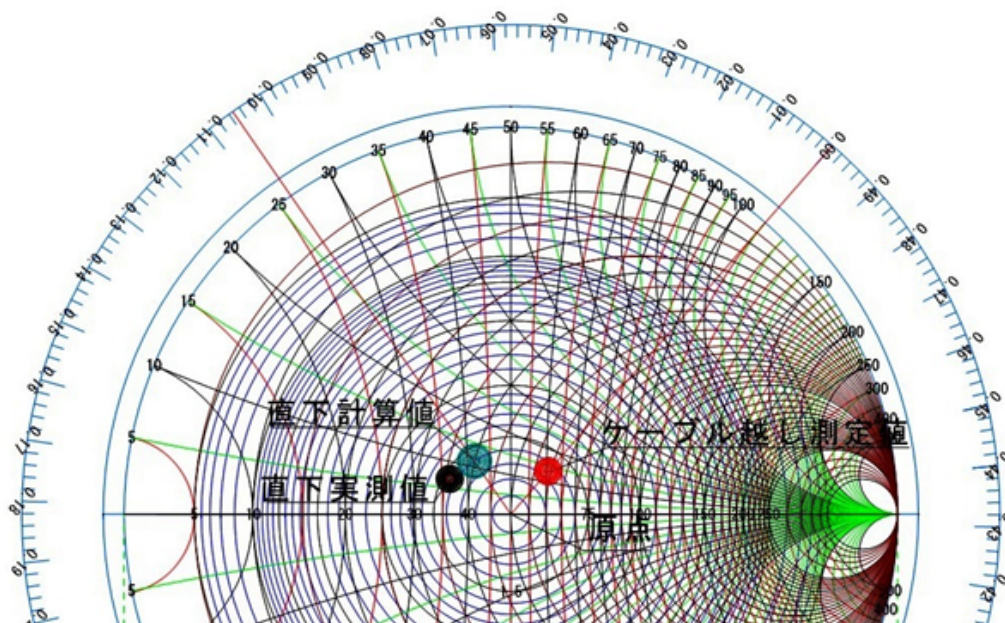
【チャート 1】

次に同軸任意長越し測定値からの直下計算値と実測値の関係について報告します。21.16MHz で 3D-2V L=10.5m 越しの測定値（赤丸）は $SWR1.34 \cdot Z=60.5 \Omega \cdot R=59.1 \Omega \cdot X=+13.1 \Omega$ でした。これより直下の SWR を求める計算が厄介なのでシート下部に市販チャートにならないグラフを追加しました。まず原点を中心に $SWR1.34$ の円を描き、この円と $ATTN(db)$ の交点 $8.4db$ を得て、これから同軸の減衰量 $0.77 \cdot 10.5/10 \div 0.8db$ をマイナスして、 $7.6db$ を得る。原点を中心に $7.6db$ の円を描き、 SWR との交点の $SWR1.4$ を得る。したがって直下 SWR は 1.4 と推定されます。【チャート 2】



【チャート 2】

$Z \cdot R \cdot X$ の推定値はケーブル長を波長換算し、 $10.5 / (300/21.16 \cdot 0.67) \div 1.1054 \lambda$ ですからチャートを 2 周して残り 0.1054λ の線と先ほど求めた $SWR1.4$ の円の交点（青丸）の $Z=42.0 \Omega \cdot R=40.0 \Omega \cdot X=+12.0 \Omega$ になり、MMANA オプション機能分布定数線路での計算値 $SWR1.42 \cdot Z=41.2 \Omega \cdot R=39.5 \Omega \cdot X=+11.8 \Omega$ とほぼ一致します。これに対し実測値（黒丸）は $SWR1.44 \cdot Z=36.6 \Omega \cdot R=35.9 \Omega \cdot X=+6.5 \Omega$ でした。【チャート 3】

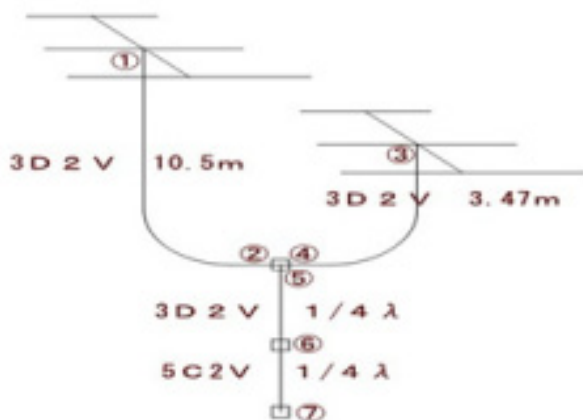


《中間まとめ》

【チャート 3】

- ①同軸路線上の SWR の変化は同軸減衰量に相当しますが、HF 帯で 5D 以上・長さ 20m 以下であれば減衰量を気にする必要もなく SWR の変化を無視しても問題はなさそうです。
- ②インピーダンス (Z) レジスタンス (R) リアクタンス (X) は同軸長 $1/2 \lambda$ の整数倍でチャートを一周することが確認出来ました。 $1/2 \lambda$ の整数倍の同軸を使えばスミスチャート・アンテナ診断シート・MMANA オプション機能分布定数線路などと云わなくてもアンテナ直下の近似値の計測が可能です。
- ③任意長の同軸越し測定値からアンテナ直下の値を推測することも可能であることが実感できました。

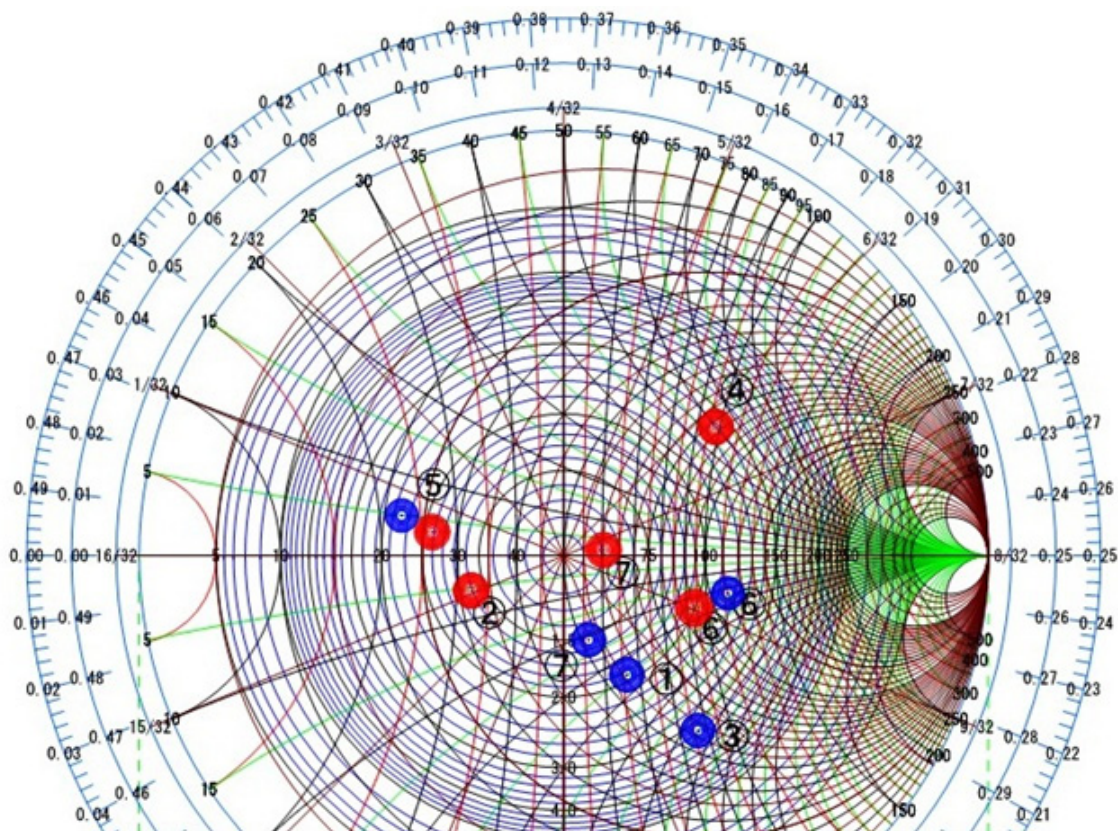
6 m 2 段スタックでの検証 (周波数 50.500MHz)



実験データ

番号	位 置	計算値				実測値			
		SWR	Z	R	X	SWR	Z	R	X
①	上部ANT直下	1.9	66.8	57.2	-34.6	高所で測定不可			
②	3D-2V 10.5m越し					1.6	31.6	30.8	-5.6
③	下部ANT直下	3.1	87.7	59.7	-64.2	高所で測定不可			
④	3D-2V 3.47m越し					2.8	98.5	76.0	60.5
⑤	Tコネ直下	2.3	23.6	21.9	5.1	1.9	27.0	26.8	3.4
⑥	3D-2V $1/4 \lambda$ 越し	2.3	108.7	106.3	-24.0	2.0	94.2	90.2	-23.0
⑦	5C-2V $1/4 \lambda$ 越し	1.5	52.0	50.8	-21.2	1.2	60.9	60.3	1.8

下部アンテナのケーブル越し測定値④は誘導性を示すが、アンテナ直下の値③は容量性でありエレメント長さで調整を図る場合は注意が必要です。測定値が誘導性だからエレメントを短くするとかえってリアクタンスが増えてしまうことになります。アナライザー周波数を変化させてアンテナ誘導性・容量性を判断する必要があります。



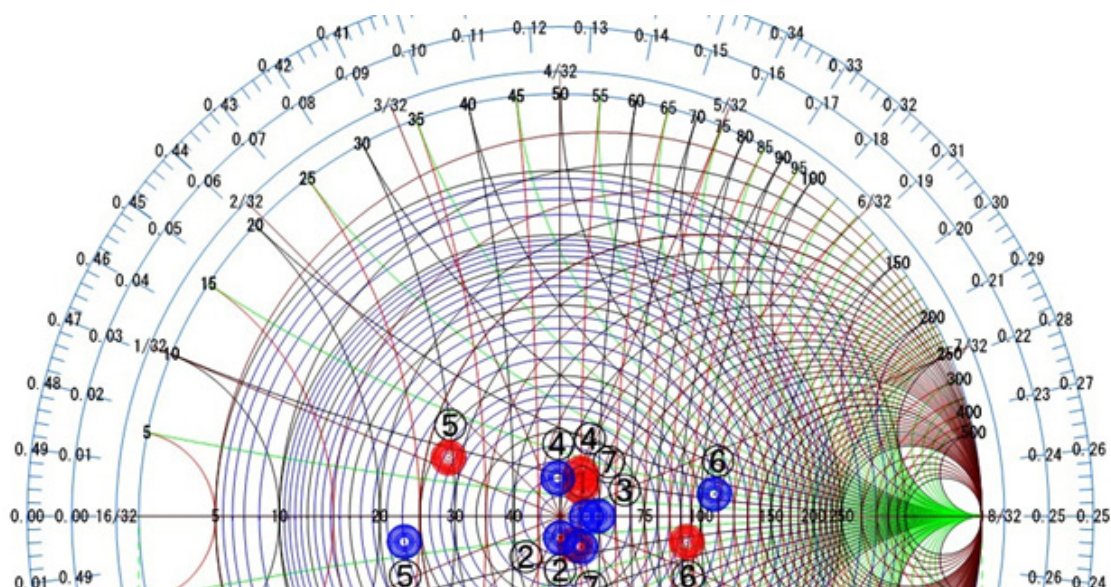
【チャート 4】

リグ手前の⑦で SWR1.2 $X=1.8 \div 0.0$ の良好な値を実測することが出来ましたが、より安定的な運用するにはアンテナ直下のリアクタンス $X = -34.6 \sim -64.1 \text{ j } \Omega$ をキャンセルするスタブを配置することにしました。マイナスのリアクタンスを発生させるキャパシタンス C を同軸のインダクタンス L で相利させる構想です。2.5D-2V の m 当り L はカタログでは $0.25 \text{ } \mu\text{H}$ ですが今回は昨年実測値を採用して $0.3 \text{ } \mu\text{H/m}$ としました。

周波数 (MH z)	リアクタンス X (Ω)	キャパシタンス C (p F)	インダクタンス L (μ H)	同軸長さ (m)
50.500	-34.6	91.0	0.109	0.36
50.500	-64.1	49.0	0.202	0.67

スタブを配置した後の推定計算値と実測値は次の通りでリアクタンスを完全に相利することは出来ませんでしたが全体的にリアクタンス $X=0$ の水平線付近の SWR1.5 以内に値が集中しており、より安定した運用が可能になったと言えます。

番号	位 置	計 算 値				実 測 値			
		SWR	Z	R	X	SWR	Z	R	X
①	上部ANT直下	1.9	66.8	57.2	-34.6	高所で測定不可			
②	3D-2V 10.5m越し					1.6	31.6	30.8	-5.6
③	下部ANT直下	3.1	87.7	59.7	-64.2	高所で測定不可			
④	3D-2V 3.47m越し					2.8	98.5	76.0	60.5
⑤	Tコネ直下	2.3	23.6	21.9	5.1	1.9	27.0	26.8	3.4
⑥	3D-2V 1/4λ越し	2.3	108.7	106.3	-24.0	2.0	94.2	90.2	-23.0
⑦	5C-2V 1/4λ越し	1.5	52.0	50.8	-21.2	1.2	60.9	60.3	1.8



【チャート 6】

今回の実験を通してインピーダンス・リアクタンス……等の無線工学用語について少し理解を深めることが出来た様な気がします。

江角電波とその製品について

JS1NHA 手塚 憲夫
さいたま市浦和区在住

■はじめに

現在、アマチュア無線機の製造業界は、ほぼ寡占状態にあると言えます。ところが、1950年代後半から60年代を通じては、大小幾つものメーカーが林立しており、オリジナリティーに富んだ製品を世に送っておりました。

この辺りの事情は、静岡県浜松市を中心として従業員数名の町工場から、資金力もあり、オートメ化された大工場を持つ企業までが揃っていた二輪車業界と似ております。戦後の軽自動車メーカー興亡史もまた然りです。

さて、江角電波研究所はこうした中小の無線機メーカーの中にあってハンディートキーを筆頭に独創的な製品を開発・生産しておりました。とりわけ、昭和30年代当時は、まだ高い周波数であった50MHz帯のハンディートランシーバーをオールソリッドステートで他社に先駆け生産する一方で、各種キットや入門用の小電力・低価格のトランシーバーを供給していたのです。

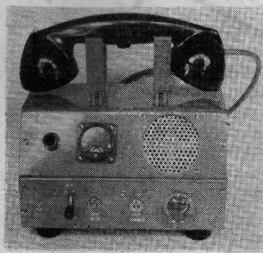
私がこれら幾多のメーカーの中から同社を取上げて取り上げたのは、次の理由からです。まず、6mの無線機を筆頭として各種の先駆的或いはユニークな製品を作り出し一時代を築いたこと、また青少年層を中心としたビギナーハムの入門に少なからず貢献したであろうと思われること、アマチュア無線史のケーススタディーとして特筆すべき存在であることなどです。

■江角電波研究所の製品と当時の世相

戦後発売されたアマチュア機を収録した「列伝アマチュア無線機50年史」によれば、江角電波の製品は1965年(昭和40年)7月に発売されたED-501Fが最初とされております。ところが、今回調べたところ、実は同社の製品がCQハムラジオ誌に初めて登場するのは、これを遡ること7年前の1958年(昭和33年)8月からということが判明しました。この年は、青少年への科学技術の普及を企図して、アメリカのノビス級に倣い新たに電話級・電信級アマチュア無線技士の資格が新設され、エポックメイキングの年でした。これに基づき翌年国家試験が実施されます。本制度と、その後開始された無線技士養成講習会がハム人口を飛躍的に増大させます。アマチュア無線技士の総数は、59年に9790人、60年に20077人、61年に30115人と毎年およそ1万人ペースで増加しているのを見ても明らかです。さて、CQ誌に掲載された江角の製品は、後のハンディートキーのプロトタイプとも言えるRT-23及び32(写真1 ともに売価22,350円)、

エスミのハンディートキー

一般無免許バンドとアマチュアバンド用



RADIO-TELEPHONE
RT-23, 32 型

無免許バンドにて二周波による同時通話方式のラジオテレフォン
移動や、臨時事務所、工事現場と組合せて工場内にて本部と警備連絡等々
電源…交流100V約30VA
正価1台 ¥22,350 (完成品) 送料 ¥350

MXS-2232 型

無免許及びアマチュアバンド28Mc, 50Mc
発信…水晶制御発振
受信…水晶制御スーパー
出力…約80mW

M-22 型

送受共自動方式
一般並びにアマチュア実験
用出力約60mW
通話…約0.3~0.8呼

R-33 型

VHF 50Mcバンドアマチュア専用
発信受信共自動方式
超再生検波方式出力…約250mW

RXS-2232 型

無免許及びアマチュアバンド兼用最高級品
発信…水晶制御
受信…水晶制御スーパー
出力…約200mW

UHF 実験用発振部 467Mc (300~500Mc)

極超短波の実験用
出力最大0.7W発振管アポロ63N
正価 ¥2,500 送料 ¥150
(球付、配線済)
各種カタログ ¥20



正価1台 ¥5,900
(電池別) 送料 ¥200
電池特準1個BL-030 1箇
¥350

江角電波研究所

特別販売店 台東電機株式会社
東京都台東区二丁目209番地 電話(83) 8980 伝呼 東京(43) 193 番
国電秋葉原駅下車都電和泉町より三井病院に向い2分

【写真1】無骨で丈夫そうな金属製の筐体の特徴的である。

37

ハンディー機のMXS-22および32(それぞれ28MHzと50MHz、出力は共に80mw)、50MHz帯のR-33(出力250mw)、そしてM-22(出力60mw 5,900円)のラインナップです。M-22については、ご覧の通り、通話距離がおおよそ0.3km~0.8kmであるとの記載があり、まあ60mwに内臓のホイップアンテナでは、この辺りが実際の通り相場と思われます。「Eスポが発生すれば何百キロも夢ではない」など大安売り・誇大広告のような宣伝文句を並べないところに良心を感じます。

更に2年後の60年(昭和35年)9月にはハンディートーキーの決定版とも言うべきRT-1(19,800円)及びRT-1S(18,000~22,000円)が発売されます。世の中は安保闘争で騒然としている時代でしたが、NHK教育テレビでは「たのしいアマチュア無線講座」の放送が始まりました。後にはラジオ短波でもハム講座の番組が誕生し、CQ出版社や誠文堂新光社からジュニア向けのアマチュア無線入門書が出されるなど、ハムの大衆化、裾野の広がりが次第に進みます。RT-1は黒電話同様の送受話機がついた50MHz・A3・1W機ですが、これはオールトランジスタではなく、電池で作動する真空管を併用したもので、トランジスタの信頼性が現在ほど高くない当時は、タクシー用トランシーバーなども終段だけは真空管を使っていたものでした。写真3はハンディートーキーの回路図です。また、姉妹品のRT-1Sは「周波数により価格が異なる」との説明があり、恐らくボビンに巻いたプラグインコイルや水晶の交換で異なる周波数に出られる機器であったと思われます。翌61年(昭和36年)には、これまで1・2級アマチュア無線技士しか出ることの出来なかった21及び28MHz帯が初級ハムにも開放されます。この年の1月のラインナップにはハンディートーキーや主に50MHz用ハンディー機のMX-2のほか、RX-2Aという無線機が掲載されています。この無線機は送受信周波数が20~50MHz

とありますので、初級ハムの中には、この機器で新たに許可された21及び28MHz帯に出た方がいたかもしれません。また、当時はまだ高い周波数として実験的な段階であり、しかもアマチュア無線は許可されていなかったUHF帯(435MHz)の発信部を発売していたのは、先進的というのか、驚くばかりです。(写真2)因みに、430~440MHz帯がアマチュア無線に割り当てられたのは1964年(昭和39年)1月16日付けです。ところで、先に、電話級・電信級の資格新設と講習会制度がハム人口を飛躍的に増加させたと申しました。しかし、現在と比較すると、当時は国家試験が春と秋の年2回、しかも試験方式は四択、五択などのマルチプルチョイスでなく記述式で試験範囲も現在より広く、難易度は高かったのです。1966年(昭和41年)3月より実施された講習会の修了試験合格により免許を与えるというもうひとつの方法も、電波法規20時間、無線工学20時間、電信級は更にこれに電気通信術が25時間と、今より遥かに講習時間が長く、教科書も厚みがありました。それ



エスエムのハンディートーキー

■ RT型 (本格的移動局用強力型)

送信 水晶発振 3A5/2 通倍 3A5/2
出力 3A5 (PP) 出力最大2W

受信 RF-1A超再生検波
RF-1S超再生検波
RF-1S超再生検波(スーパー)※

※全1トラクタ方式(2SBI72)に真空管併用式
低周波(変調) トランジスタ (2SBI72
×2-2SBI-25)

周波数 HF~VHF 広希望バンド1周
波数 価格 キット ¥1,500
完成品 ¥21,000

■ RX-2A型 (20~50Mc)

真空管水晶発振
超再生検波

キット ¥10,800
完成品 ¥15,900
(電池送料別)
その他
全トランジスタ方式有

■ MX-2型

小型安定で高感度
周波数 主として 50Mc用
水晶発振 3A5/2
出力 3A5/2
検波 5676
低周波(変調) 2SBI71
-2SBI72×2 (PP)
キット ¥8,630
完成品 ¥12,900
(各電池送料別)
その他MX-2S, 3S型トランジスタスーパー式も有

■ GR-2型超再生式受信機



コイルの挿替だけで18~160Mc帯送受信できる重宝な高感度で安定な3球式受信機。ハムの机上に絶対必要です。

価格 キット ¥4,680 完成品 ¥5,800
真空管別 キット ¥3,900 各 ¥250

※キット内容
レギュレータ、バリコン、バーニヤ、アンテナ(1m
自立型)、レシーバー-その他、電源と真空管付(12
AT7, 6BA6, 5MK9) コイル別
※コイル 各1~#5迄の本1組 ¥750 各50

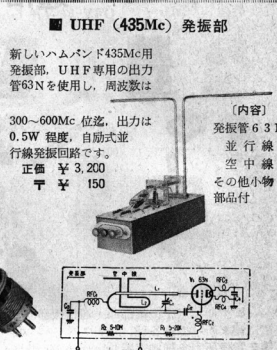
■ UHF (435Mc) 発振部

新しいハムバンド435Mc用
発振部、UHF専用の出力
管63Nを使用し、周波数は

300~600Mc 位迄、出力は
0.5W 程度、自動式並
行線発振回路です。

正価 ¥3,200
¥150

(内容)
発振管 63N
並行線
空中線
その他小物
部品付



詳細説明書資料 切手38円 株式会社 江角電波研究所

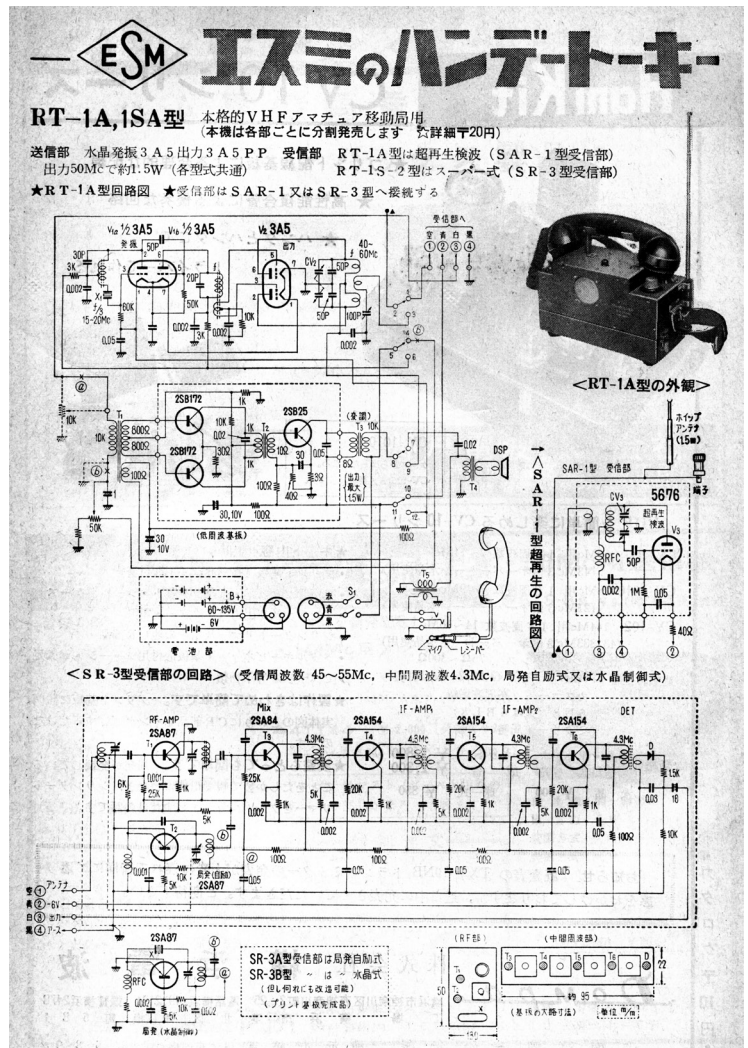
東京都町田市金森1丁目51番地 電話町田局(0274)4597 振替東京43362

【写真2】

だけに、初級ハムと言えどもステータスがあり、またかなり敷居が高かったと言えます。その様な中で、無線従事者免許不要のC B無線(27MHz帯)は、アマチュア無線入門としてある程度の人気がありました。江角電波でも61年7月に出版されたVHFハンドブックにMS-2A及びMS-3というC B無線の2機種を掲載しています。【写真2】

■江角電波研究所から江角電波株式会社へ

昭和30年代後半から40年代にかけてはモータリゼーション、自動車の大衆化の時代でもありました。1955年(昭和30年)1月に発表された、戦後最初の本格的乗用車と言われたトヨペットクラウンは、新車価格が確か104万でした。初任給が1万円行くかどうかの時代ですから、当然、庶民にとって高嶺の花で手が届かないものだったと思われます。その後、1958年(昭和33年)には実用性のある軽自動車としてスバル360が、またその2年後にはマツダR360クーペが発売されます。R360クーペの新車価格が30万で、確かに当時の物価や給与水準から比較すると高価ではありますが、どうかマイカーが手に入るものになって参りました。更に時間が下り、東京オリンピックの開催や新幹線の開業などと言った出来事と前後して、高速道路の整備も始まるとともに、自動車も手頃なものとなり、サニーやパブリカのようなファミリーカーを持つ人々も増えました。この時代のアマチュア無線界で特徴的なのは、自動車に無線機を積んで交信するモバイル・ハムと野山に無線機を持って運用する移動運用の出現です。CQ誌でもモバイル局の紹介やリュックサックに入る小型トランシーバーの製作記事が掲載されています。これには、自動車の普及、オールソリッドステートによる



【写真3】真空管とトランジスタを併用していることが回路図より判る

トランシーバーの小型軽量化、レジャーブームなどが背景にあると考えられます。

江角の製品も、こうした世相を反映してモバイル機や移動運用を想定したものが発売されており。当時は、50MHzや144MHzのモバイルハムが流行し始めた頃でしたが、これに呼応するがごとく写真4にあるようにED-605をはじめとした3機種を発売しました。また、繰り返し充電して使える「バリウ電池」や携帯して使えるダイポールアンテナの「レインボーアンテナ」という移動運用を意識して開発された商品も見ることができます。レインボーアンテナは、エレメントを増設することにより、3エレの八木アンテナとしても使用できるものでした。

さて、やがて江角電波研究所は江角電波株式会社へと社名を変更します。CQ誌のバックナンバーから調べたところによると、1965年(昭和40年)7月号から新社名になっているので、この頃に社名を改めたものと思われます。面白いところとしては、モバイル用トランシーバーとして開発された同社のED501F(50MHz帯・FM、売価45,000円)の広告に「昭和40年6月6日と7月4日の両日、17時40分からラジオの日本短波にて同機の移動実験を放送する」とあることです。どんな内容だったのか、興味をそそられます。

■江角社長と江角電波の終焉

ここで江角電波の創業者、江角弁蔵氏についても若干ですが触れておきたいと思います。伝え聞くところによると、江角社長は仲々のアイディアマンで、次々と新しい製品を開発しては日本アマチュア無線連盟(JARL)に持ち込み熱心に説明していたと言います。江角電波の広告にも「無線連盟の本部に当社の製品を展示」してある旨の記載があります。また、「当社のトランシーバーは各種の特許を申請中」であるとも書かれており、様々な工夫や新案が盛り込まれていたことが伺えます。実は、江角氏は、無線業界では「大先達」とでも呼ぶにふさわしい人物で、1952年に誠文堂新光社より、「実用的な465Mc小型トランシーバーの作り方」及び「テレビ調整に便利なスィープジェネレーターの作り方」という著作を出されています。この年は、日本が講和条約を締結、ようやくアメリカの占領下から独立を果たした年であるとともに、アマチュア無線が再開された記念すべき年でもあります。再開されたと言っても、3.5MHzと7MHz帯がそれぞれA1(電信)で5波、A3(電話)で4波がスポット(チャンネル)で割り当てられたに過ぎませんでしたから、酷い混信に悩まされたそうです。また、NHKテレビの本放送が開始されるのは、この翌年です。そうした時代であったことを考えると、アマチュア無線家を含めた当時の人々にとって及びもつかない高い周波数であるUHF帯のトランシーバーや、時代の最先端を行くテレビジョンに関する書を記した、その先見の明、先進性には驚くばかりです。

これ程までに、アマチュア無線関連製品の設計・製造に心血を注いだ江角氏だけに、ご自身もアマチュア無線家であったと考え、今回、1960年(昭和35年)7月発行のコールブックを調べましたが、その名は見当たりませんでした。但し、その後、JA1YRLのコールサインで「江角電波ハムクラブ」局が出来たそうですので、そちらでオンエアされていたかも知れません。(このコールサインは後にJARL局に引き継がれています。)

『「TR-1000のおかげで会社が倒産した」と後に江角電波の社長がこぼしていた。』こんな逸話があります。確かに50MHz帯のポータブルトランシーバーでは64年(昭和39年)12月に井上電機(現アイコム)からFDAM-1が、また1年後にはトリオ(現ケンウッド)から同じく50MHz帯ポータブルのトラセンことTR-1000が発売されました。どちらもAMの1W機で前者が25,000円、後者が27,500円と手頃な価格です。両社とも、資金力や販売網などで江角に勝っており、これが江角電波にとって大きなダメージになったであろうことは、十分考えられます。そして、江角は警察無線の受信機製造を最後に無線業界から撤退して行ったと伝えられています。CQ誌の紙面では、江角電波独自の広告は1967年(昭和42年)11月号を最後に姿を消しております。

その後、1970(昭和45年)4月のCQ誌には江角の受信機GR-207Sが再び登場(写真5)しますが、これは通信販売で有名な二光通販の取り扱い商品としてです。また、70年代に入って江角が50MHz帯ポータブル機「ハミーハンター」を製造・販売していたと巷間に伝えられております。私が調べたところでは、ハミーハンターSC-62(2W機、27,500円)がCQ誌の70年11月号に三協電機商会(大阪市浪速区)の商品として掲載されております。推測の域を出ませんが、江角電波が製造し、三協電機が販売したか、或いは製造・販売のライセンスを三協に譲渡したのかも知れません。一時期はディスカウント・ショップ(俗に言うバツタ屋)の広告に江角の製品があったとも言います。

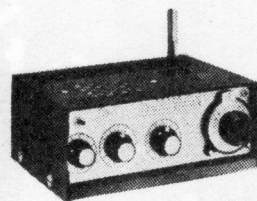
■最後に

かくして江角電波は、その歴史に幕を引きました。江角電波があった場所には、現在マンションが建ち、「兵どもが夢の跡」と申すべきか、何一つ痕跡を留めてはいないようです。それにしても、これまでアマチュア無線の歴史に関連させながら、駆け足で同社のことを述べてまいりましたが、アマチュア無線界のパイオニアとして、また50MHz帯を筆頭としたポータブル機を開発・供給したメーカーとして、同社の製品と江角氏の功績は特に記録に留めておきたいものです。最近では、熱意溢れる方がハンディートーキーを自作で再現されたようだし、電気通信大学のコレクションにも収蔵されているようです。【写真5】→

また「無線とパソコンのモリ」さんでも同社の製品を保存・展示していることは喜ばしいことです。

本来であれば、江角社長を直接知っている方や、江角のトランシーバーを使って交信した方をお訪ねして、生の声を載せたかったところですが、時間に限りがあり果たせませんでした。これは今後の課題と致したいと思います。なお、本文の執筆に当たってご協力をいただいた、日本アマチュア無線連盟の展示室の皆様はこの場を借りて御礼申し上げます。

エスミの 超再生受信機 GR-207S(コイル6本付)



- コイル6本の挿替えて27~160McまでOK
- 初回金2,700円
- あと月750円×10回



最も古い伝統と実績を誇る

エスミのトランシーバー

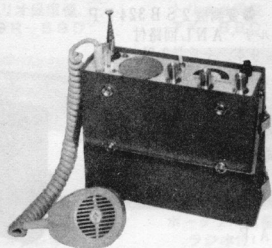
当社のトランシーバーには各種の特許が申請してあります。

革命的新電池使用！

ED-605型

車載用にもなる

A M50Mc用



●本機の性能は革命的新電池“バリウ電池”の使用により飛躍的に向上致しました、例へば電源電圧の変動による明瞭度、出力の低下等が、大巾改善されました。

●バリウ電池は単一型電池と同型にて容量は約“1.5倍”，又充電が出来ますから半永久的です。

送信部

2SC106使用，出力 1.2W，A M

受信部

スケルチ，A N L付計24石

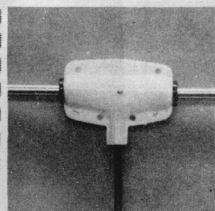
●正価 ¥32,600

電池のみ8個1組(16V) ¥ 3,600 千 400

●上記価格でE D- 605をお買上げの方にはバリウ電池 1組を差上げます。但し送料 ¥ 500を加算下さい。

レインボー
アンテナ

●軽量にて携帯用
に非常に便利です



¥ 1,600 千 200

(自在アンテナ 2本付)

¥ 2,000 千 共

(ケーブル 3m付)

新発売 AM/FM両用！

ED-45F型

AM/F 式50Mc用



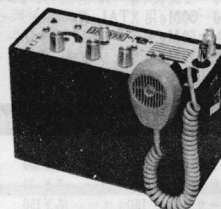
送信部 FM 2 ~ 4 c h / A M 5 c h 切替
出力 5 W

受信部 A M / F M，水晶 / 自励切替式

説明書 千 100

ED-45C型

(旧名称RS-45C型)



旧RS-45型よりデラックスなデザインと高出力に内外部共改善

送信部 A M / 終段2SC106 × 2 出力2 ~

受信部 水晶式と自励式に切替可能 3 W

正価 ¥41,500 千 800

★上記型式に使用の基板は別売しております カタログ 千 100

トランシーバー用各種基板
ROM - 3 D
IFT - 4.5 W
TR - 4
OX - 6.5 A
その他 A M - F M 基板各種

高周波コンバーター ¥ 3,200 千 150
ダブルスーパー ¥ 3,900 千 150
低周波変調 ¥ 2,900 千 200
送信部 5 c h ¥ 8,900 千 200
説明書 千 100

説明書各機種共 千 100

《●大阪販売店》中野無線

江角電波株式会社

東京都町田市金森1-12-7
TEL (町田局) 0427-(22) 4597 (23) 5171

参考・引用文献

○アマチュア無線のあゆみ J A R L 50年史 C Q出版社 1983年8月

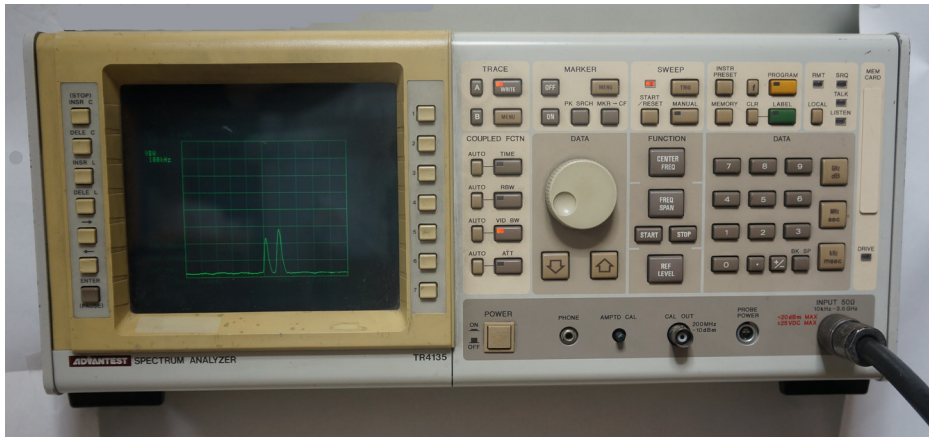
○列伝アマチュア無線機50年史 マガジンランド 1995年6月

○C Q ハムラジオ 1958年8月、61年1~3月、67年1月、

70年4、11月の各号 C Q 出版社

○C Q ハムラジオ別冊 V H F ハンドブック 1961年7月 C Q 出版社

計測器今昔 - スペクトラムアナライザ - アドバンテスト TR4135



1986 年頃の製品です。¥ 2500k 位したと思います。
 周波数レンジ：10kHz~3.6GHz
 測定範囲：-131dBm ~ +20dBm
 ダイナミックレンジ：-116dBm
 スイープ時間：50ms ~ 1000s
 寸法：424 × 177 × 500
 重量：29kg

GwInstec GSP-730



2013 年 ¥98k
 周波数レンジ：150kHz~3.0GHz
 測定範囲：-40dBm ~ +20dBm
 ダイナミックレンジ：-
 スイープ時間：300ms ~ 8.4s
 寸法：296 × 152 × 115
 重量：2.2kg

現場で簡単な測定をするのであれば十分な機能を持っています。物が違うので比較するのも野暮ですがその寸法と重量の違いに驚きます。
 重いものが持てない年寄りには手ごろなものが出てきたものです。

盆と正月は6mAMで盛り上がりましょう！

【内容】

①第1回 6mAM サマーパーティー結果(2012.8)

【ご連絡】

第2回 6mAM サマーパーティー終了(2013.8)

⇒参加された方はLOGのご提出をお願いします

②第2回 6mAM QSOパーティー結果(2013.1)

【予告】

第3回 6mAM QSOパーティー予告(2014.1)

③6mAMアクティブフランの紹介



「はるかかなた」でーす。
6mAM盛り上げよう！
「空とロケット団」マスコットガール

主催：JF2ZPA デンソー幸田製作所アマチュア無線クラブ

① 第1回 6mAMサマーパーティー結果(2012年8月)

主催:JF2ZPA デンソー幸田製作所アマチュア無線クラブ

当デンソー幸田アマチュア無線クラブ主催、第1回 6mAMサマーパーティー
にご参加およびログの提出をしていただき、ありがとうございました。

59局もの方からログの提出をしていただきました。

分類	順	コール	得点
1エリア	①	JA1WSE	33
	②	JJ1PSM	23
	③	JR1FCC	20
		JH7OZQ/1	19
		7K2HUG	17
		JN1FRL	15
		JO1BEY	14
		7N3BGR/1	14
		JP1EVD	14
		JQ1LXI	13
		JA1TAZ	13

分類	順	コール	得点
3エリア	①	JN4JGK/3	30
	②	JF3NAO/3	22
	③	JG3DOR/3	19
		JK3ILY	14
		JF3LCH	14
		JF3BDN	12
		JJ3FKB	11
		JQ3AJD	10
		JR3SZZ	1
4,5,9,0 エリア	①	JF2CRP/0	45
	②	JH2VXK/0	27
	③	JA5FOP/5	16
		JF4RKA	13
		JH4SMT	11
		JA3XQO/9	11
		JH1OES/0	10
		JN4PMO	7
6,7,8	①	JR8DAG	11

分類	順	コール	得点
2エリア	①	JR2BBR	42
	②	JA2AEP	31
	③	JF2PZN	31
		JG2KFI	30
		JN2HYM	29
		JF2PEO	29
		JR2NEL	27
		JH2EEF	27
		JA2WLA	27
		JJ2GZC	24
		JJ2SDM	23
		JG2DVN	22
		JH2QZQ	22
		JR2IGA	22
		JG2QUM	20
		JF2KWM	20
		JF2TWY	18
		JA2AJL	18
		JF2QKA	18
		JQ2VBC	17
		JF2CTY/2	16
		JR2KMX	16
		JG2VSF	14
		JE2VBZ	14
		JR2DNK	14
		JP2KUN	14
		JL2OGZ	11
		JA2AZZ	11
		JH2BAX	10

チェック ログ	JF2ZPA	-
	JJ2GCM	-

① 参加記念AWARD 第1回 6mAMサマーパーティー
(2012年8月)

2012 6mAMサマーパーティー

見本

局 殿

貴局は 第1回 6mAM サマーパーティーに
おいて10ポイント以上の6mAM交信を
達成されましたのでこれを賞します。

デンソー幸田製作所アマチュア無線クラブ
JF2ZPA



ありがとうございました。

【ご連絡】

13年度の第2回 6mAMサマーパーティーは
13年8月10日～8月18日に開催されました。
参加頂いた方はLOGのご提出をお願いします。
(提出期限は9月1日です)

毎年、お盆は6mAMで盛り上がりましょう！

主催: JF2ZPA デンソー幸田製作所アマチュア無線クラブ

② 第2回 6mAM QSOパーティー結果(2013年1月)

主催:JF2ZPA デンソー幸田製作所アマチュア無線クラブ

当デンソー幸田アマチュア無線クラブ主催、第2回 6mAM QSOパーティー

にご参加およびログの提出をしていただき、ありがとうございました。

86局もの方からログの提出をしていただきました。

順	CALL	局数
1	JR1UJX	103
2	JA3XQO/3	52
3	JA3QOS	43
4	JM2CAN	37
5	JR1OBC	33
6	JH2EEF	32
7	JH2INQ	32
8	JF2QKA	31
9	JF3BDN	30
10	JA1XHC	30
11	7K1CPT/1	30
12	JP1EVD	27
13	JI2GZC	27
14	JA1WSE/1	27
15	JF2ZPA	27
16	JJ1PSM	25
17	JF2TAR	24
18	JN1FRL	23
19	JN2HYM	23
20	JS1KLS	22
21	JH7OZQ	21
22	JR2BBR	21
23	JF2CRP	21
24	JQ2VBC	21
25	JG3DOR/3	21
26	JF2PEO	21
27	JR2NEL/2	20
28	JK1MVF	20
29	JE2HXL/2	20

順	CALL	局数
30	JA2WLA	17
31	JO1UNR	16
32	JF2CTY/2	16
33	JR8DAG	15
34	JA2AJL	15
35	JA1UOA	14
36	JJ2SDM	14
37	JK3ILY	14
38	JH2VXK	13
39	JE2BOM	12
40	JG2NLN	12
41	JE1YEM	11
42	JA2AEP	11
43	JA1QUT	11
44	JH3JLU	11
45	JQ2SJN	11
46	JR2IGA	10
47	JM1SZY	10
48	JH2QZQ	10
49	JI2GVL	10
50	JF1NEG	10
51	JR2DNK	9
52	JJ2BXL	9
53	JJ1HHJ	8
54	JH1VUI	8
55	JJ3FKB	8
56	JN3VQM	8
57	JM1EKM	8
58	JN4PMO	8

順	CALL	局数
59	JK2HGB	8
60	7L1WRK	7
61	JP3EAN	7
62	JA1TAZ/1	7
63	JF4RKA/4	7
64	JF3NAO/3	7
65	JN1JVA	7
66	JF2AZM	6
67	7L2OHM	6
68	JG2VSF	6
69	JF1ULY	6
70	JG2DVN	6
71	JR2KMX	6
72	JK3TKA	5
73	JF2LNC/2	5
74	JE9MBV/9	5
75	JE2VYM	5
76	JI1TML	5
77	JG3CCD	5
78	JH4SMT/4	3
79	JF2TWY	3
80	JI2GCM	3
81	JG2QUM	2
82	JK1ONN	1
83	JR3SZZ/3	1
84	JL2OGZ/2	1
85	JK2WSZ	1

CL	JI1TLL	(10)
----	--------	------

② 参加記念AWARD 第2回 6mAM QSOパーティー (2013年1月)



ありがとうございました。

【予告】

次回(14年1月)の第3回 6mAM QSOパーティーは
14年1月2日～1月3日に開催の予定です。
(JARL主催 QSOパーティーと同時開催)
沢山の方のご参加をお待ちしております。

(JF2ZPAのHPに詳細を掲載予定)

お正月は6mAMで盛り上がりましょう！

主催: JF2ZPA デンソー幸田製作所アマチュア無線クラブ

③ 6mAM アクティブフラン！

狙い：6mAMのアクティビティーを上げたい！

皆さん、とにかく電波を出して欲しいです。
よろしくお願いします！
(無駄な電波でもいいので出して6mAMを
「賑やか通り」にすることから始めたいと思います)
誰かがいれば人は集まります！

実施： 毎週 土曜日 20:00-23:00
周波数： 50.500-50.700MHz
(6mAMロールコールの時間はその周波数は避ける)
モード： AM
(A1,A2でのCW練習の場としての活用も可)
方法： とにかく電波を出す
(CQ、ラグチュー、CW練習、試験電波等)

発起人:JR2BBR 山本

第 24 回 2 エリア主催 A M コンテスト 結果発表 (2013 年 7 月 28 日開催)

A 50MHz シングルバンド部門

2013 年 8 月 24 日
6 m A M 愛好会

位	コールサイン	総得点	局数	JCC・G	エリア	備 考
1	J M 2 C A N / 2	9,900	50	33	236780	エリアの表示数 値は実際にQS Oしたエリアナン バーです
2	J E 2 H X L / 2	6,216	37	28	1278	
3	J G 2 Q U M / 2	2,052	19	18	123780	
4	J N 4 J G K / 3	1,496	22	17	2380	
5	J F 2 Q K A / 2	1,428	21	17	2380	
6	J L 1 S E N / 1	1,386	22	21	128	
7	J A 1 C C X / 1	1,296	24	18	178	
8	J A 2 A Z Z / 2	896	16	14	2380	
9	J J 1 P S M	780	20	13	178	
10	J A 3 H K R / 3	672	14	12	2348	
11	J A 1 T A Z / 1	390	15	13	18	
12	J P 1 V B Z / 1	260	20	13	1	
13	J H 2 E E F / 2	220	11	10	23	
14	J R 2 I G A / 2	200	10	10	23	
15	J N 4 P M O / 4	192	8	6	3478	
16	J F 2 A Z M	162	9	2	28	
17	J O 1 A T K	84	7	6	2	
18	J J 1 S W I	72	6	6	18	
18	J S 1 U E H / 1	72	9	8	1	
20	J R 2 B B R	60	6	5	23	
21	J Q 1 L X I	56	8	7	1	
22	J H 7 F U J	50	5	5	2	
23	J P 3 E A N	40	5	4	38	
24	J A 1 W S E / 1	25	5	5	1	
25	J A 2 F A S	24	4	3	28	
26	J F 2 F I U	18	3	3	28	
27	J I 1 J C I / 1	16	4	4	1	
28	7 N 1 X H Q / 1	9	3	3	1	

B マルチバンド部門

位	コールサイン	総得点	局数	JCC・G	エリア	バンド	備 考
1	J I 2 G Z C / 2	5,520	23	20	2368	28,50,144	エリア・バンドの数は実際にQSOLしたエリア・周波数帯を記載しています
2	J P 2 U B H / 6	48	4	3	68	28、50	
3	J E 2 V B Z / 2	4	2	2	2	144	
4	J R 6 K B F / 6	1	1	1	6	28	
5	J J 2 P U E / 2	1	1	1	2	144	

C 50MHz シングルバンド Q R P 部門

位	コールサイン	総得点	局数	JCC・G	エリア	空中線電力 / 消費電力	備 考
1	J R 8 D A G	21,060	52	45	123456890	200mW/2.4W	エリアの表示数値は実際にQSOLしたエリアナンバーです
2	J F 2 N M Y	363	11	11	238	90mW/1.4W	
3	J A 2 A E P	264	12	11	28	500mW/4.4W	
4	J R 1 U J X	130	13	10	1	10mW/0.3W	
5	J O 1 U B D / 1	18	3	3	18	250mW/3.45W	

D マルチバンド Q R P 部門

(該当局なし)

久しぶりに天候とコンディションに恵まれ楽しめました。(一部地域では不安定な天候になったようです)長時間にわたり比較的安定したE - スポに大にぎわいでした。 Q R P 部門で参加の J R 8 D A G 局は2万点を超える総得点で他局を圧倒しました。

当コンテストの規約で指定している様式での提出をお願いいたします。これまで容認してきた部分がありますが、短期間で効率よく集計するには弊害があり次回より排除することにします。

得点については事務局にて誤り等を修正して掲載しています。

2012 年後半マラソンコンテスト結果

表彰	C A L L	有効局数	マルチ	総得点	備 考
1 エリア					
☆	JR1OBC	204	28	5712	
	JQ2NBN/1	185	18	3330	移動のみ (1 エリア自宅)
	JA1KK	87	28	2436	
	JP1EVD	39	20	780	
	JK1ONN	33	21	693	
	JK1DTK	15	12	180	
	JM3LSE/1	1	1	1	移動のみ
2 エリア					
☆	JA2AEP	38	46	1748	
	JM2CAN	21	28	588	
	JF2QKA	37	14	518	
	JA2AZZ	21	24	504	
	JG2QUM	15	16	240	
	JG2KFI/2	35	5	175	移動のみ
	JL2OGZ/2	4	4	16	移動のみ
3 エリア					
☆	JG3DOR/3	12	8	96	移動のみ
4 エリア					
☆	JN4PMO/4	15	11	165	移動のみ
	JF4RKA/4	9	5	45	移動のみ
8 エリア					
☆	JR8DAG/QRP	39	38	1482	QRP(MAX0.2W) 運用のみ

2013 年前半マラソンコンテスト結果

2013.8.14 6 m A M 愛好会 JF2QKA

表 彰	C A L L	有効局数	マルチ	総得点	備 考
1 エリア					
☆	JR1OBC	38	29	1102	
	JP1EVD	30	20	600	
	JJ1SWI/1	26	8	208	移動のみ
	JQ2NBN/1	8	23	184	移動のみ（1 エリア自宅）
	JK1ONN	5	20	100	
	JK1DTK	1	3	3	
2 エリア					
☆	JM2CAN	89	36	3204	
	JA2AEP	34	47	1598	
	JF2QKA	39	15	585	
	JA2AZZ	9	15	135	
	JL2OGZ	2	2	4	
3 エリア					
☆	JP3EAN	37	41	1517	
	JA3HKR	13	26	338	
	JG3DOR/3	24	13	312	移動のみ
4 エリア					
☆	JN4PMO/4	24	7	168	移動のみ
8 エリア					
☆	JR8DAG/QRP	113	37	4181	Q R P (MAX0.2W) 運用のみ

☆入賞局の賞状は9 / 末までに発送します。

※今回は3 エリアに新人さんが現れました。その方からロールコールのキー局の取り扱いについて質問がありましたので、この場を借りて回答します。

回答→キー局の無効Q S Oはロールコールでのチェックイン受付（呼ばれる側）のQ S Oのみです。

キー局をやったからと言って、参加資格が無くなる事はもちろんありません。

当局もログのデータからキー局分を削除してマラソンコンテストのログにしています。

キー局をやられる予定があるなら頑張って下さい。

◎次回（2013年後半）もよろしくお願いします。

懐かしい AM 無線機 - 井上電機製作所 -



2012/12 開催 第 28 回 1 エリア AM コンテスト結果

1 エリア内固定局部門

	コールサイン	得点	マルチ	合計		コールサイン	得点	マルチ	合計
1	JR1UJX	314	99	31086	43	JK1ONN	52	22	1144
2	JA1DCK	300	93	27900	44	JA1VZV	50	22	1100
3	JH8PNE/1	280	93	26040	45	JH1NXU	54	20	1080
4	JN7EQY/1	242	77	18634	46	JF1ABZ/1	48	21	1008
5	JJ1PSM	230	78	17940	47	JA1LZK	50	19	950
6	JQ1TIV	204	75	15300	48	JR1FCC	50	18	900
7	JK1QAY	152	57	8664	49	JG1GFU	44	20	880
8	JA1KK	148	50	7400	50	JA1GQG	33	26	858
9	JG1UDE	126	47	5922	51	JG1APX	40	19	760
10	JS1PXY	107	53	5671	52	JG1INV	40	19	760
11	7M4QOA	128	41	5248	53	JN1DNV	42	17	714
12	JA1VWK	118	42	4956	54	7N4FGM	36	16	576
13	JQ1LXI	108	44	4752	55	JA1IQK	34	16	544
14	JH1APY	108	40	4320	56	7N2XHH	36	15	540
15	JA1CP	110	39	4290	57	7N1XHQ/1	36	15	540
16	JF1KUR	102	42	4284	58	7N4AVW	32	15	480
17	JH1OVP	106	39	4134	59	JH1VUI	30	14	420
18	JR0MOE/1	104	39	4056	60	JK1TCV	32	12	384
19	JA3LKE/1	102	38	3876	61	JM1KLO	28	13	364
20	JA1COU	94	37	3478	62	JF1WCK	28	12	336
21	JA1KI	96	35	3360	63	JE1HTV	28	11	308
22	JM1EKM	92	35	3220	64	JA1LBZ	18	17	306
23	JO1UNR	88	33	2904	65	JG1NCL	24	12	288
24	JN1BBO	84	32	2688	66	JA1UAV	24	12	288
25	7K1PTO	84	31	2604	67	7N2TRM	17	16	272
26	JA1CCX	80	31	2480	68	JK1GMB	24	11	264
27	JO1ATK	74	27	1998	69	JA1CTZ	22	11	242
28	JL1KQH	72	27	1944	70	JK1SDQ	24	10	240
29	JO1KVS	70	27	1890	71	JA1WC	22	10	220
30	JG1LMW	27	70	1890	72	JG2RZF/1	26	8	208
31	JP1VNA	68	27	1836	73	JL1WCN	20	10	200
32	JO1SIM	68	27	1836	74	JA5VBH/1	12	12	144
33	JQ1FIB	68	26	1768	75	JF3CGN/1	18	8	144
34	7K4VPV	64	25	1600	76	JK1DTK	16	8	128
35	7K2HUG	60	24	1440	77	JA1WBN	18	7	126
36	7N3CCB	60	23	1380	78	JE1UTW	20	6	120
37	JK2WSZ/1	58	23	1334	79	JJ3AES/1	16	7	112
38	JP1EVD	56	23	1288	80	JH1AHU	8	8	64
39	JA1JUR	58	22	1276	81	JA1XPM	10	4	40
40	JM1IQX	62	20	1240	82	JA1LZ	8	4	32
41	JG1TWP	54	22	1188	83	JG1FXK	6	3	18
42	JJ1RUM	54	22	1188	84	JG1CMT	8	2	16

2012/12 開催 第 28 回 1 エリア AM コンテスト結果

1 エリア内移動局部門

	コールサイン	得点	マルチ	合 計		コールサイン	得点	マルチ	合 計
1	JR1OBC/1	398	121	48158	18	JA1WOB/1	140	52	7280
2	JQ2NBN/1	362	114	41268	19	JG1NDM/1	106	38	4028
3	7N1BHO/1	356	111	39516	20	7N4WCU/1	94	39	3666
4	7K3DIW/1	342	105	35910	21	JG1AVR/1	88	37	3256
5	JR1MEG/1	316	101	31916	22	JQ1KRT/1	82	37	3034
6	7K1PEO/1	314	99	31086	23	JH1OES/1	74	30	2220
7	JN1WLC/1	276	93	25668	24	JS1UEH/1	72	30	2160
8	JP1VBZ/1	268	88	23584	25	JH3HWH/1	66	27	1782
9	JJ1FZN/1	260	87	22620	26	7M4HXE/1	58	23	1334
10	JH1KVQ/1	240	79	18960	27	JG1SNX/1	50	23	1150
11	JA0AMA/1	216	74	15984	28	JE1QJE	48	22	1056
12	JQ1BYM/1	204	73	14892	29	7M2GGJ/1	44	16	704
13	JA1TAZ/1	178	68	12104	30	7M3OER/1	20	9	180
14	JM1SVG/1	174	61	10614	31	JO1EEQ/1	16	8	128
15	JH1CHU/1	178	58	10324	32	JA9DTV/1	6	5	30
16	JQ1HAM/1	148	51	7548	33	JM3LSE/1	1	1	1
17	JA1WSE/1	134	56	7504					

1 エリア外局部門

	コールサイン	得点	マルチ	合 計
1	2 エリア			
2	JHOCJH/2	232	78	18096
3	JF2KRH/2	207	69	14283
4	JF2FIU	4	2	8
	3 エリア			
1	JR3SZZ/3	1	1	1
	4 エリア			
1	JF4RKA/4	6	2	12
2	JN4PMO/4	2	2	4
3	JH4SMT/4	1	1	1
	8 エリア			
1	JR8DAG	7	2	14
2	JE8IAS	1	1	1
	0 エリア			
1	JH0NEC/0	20	9	180

QRP 部門

	コールサイン	得点	マルチ	合 計
1	JL1BWG/1	312	96	29952
2	JE7FSB/1	68	28	1904
3	JQ1HYB	48	21	1008
4	JR1USU/1	29	24	696
5	JF1ULY	26	11	286

その他

	SWL		書類不備	備考
	該当なし		なし	

第 29 回 1 エリア A M コンテスト

(現在検討中です、下記は昨年要綱です。)

「詳細はまんなかくらぶの Web サイトで確認をお願いいたします」

日時	2012 年 12 月 23 日 10:00 ~ 13:00
参加資格	国内の個人アマ局
周波数	5 0 . 5 0 ~ 5 0 . 9 0 MHz
モード	A M (A 3 H 含む)
部門	1 . 1 エリア内固定局 2 . 1 エリア 内移動局 (既設の無線設備又は既設電源の存在する場所での運用は固定局部門) 3 . 1 エリア外局 4 . Q R P (出力 0 . 5 W 以下) 局 5 . S W L
呼び出し	C Q A M コンテスト、C Q コンテストなど
コンテストナンバー	R S + 地域 N R 1 エリア内局 = A J A - N R 1 エリア外局 = 府県支庁 N R AJA-NR とは JCC、JCG ナンバーのことです (区番号も含む)
得点	異なる局 2 点 1 エリア外局同士 1 点
マルチ	異なる地域 N R
総得点	得点の和 × マルチの和
提出書類	J A R L 様式サマリー・ログ
申請先	168-0073 東京都杉並区下高井戸 5 - 9 - 6 松山方 まんなかくらぶ事務局宛
締め切り	2 0 1 2 年 1 月 2 0 日消印有効
注意事項	1 . 移動局は移動場所を明記のこと 2 . 結果希望者は S A S E (8 0 円) 同封のこと 3 . 参加部門を必ずサマリーシートに記入してください 4 . 電子ログも受付ます。JARL 提出形式であればデータを 1am@6mnet.jp 宛てに送付してください (手動受付) *アドレスは 12 月 23 日 ~ 1 月 20 日までの期間限定です 5 . その他は J A R L コンテスト規約に準ずる 6 . 周波数の上限、下限周波数で運用する場合には周波数を逸脱しない よう気をつけてください。

次回コンテストの結果発表は 2 月中旬までに行います。

第 25 回 2 エリア主催 A M コンテスト - 規約 -

主 催	6 m A M 愛好会
日 時	毎年 7 月の最終日曜日 1 0 0 0 ~ 1 6 0 0 (第 2 5 回は 2 0 1 4 年 7 月 2 7 日 運用できる範囲の時間で参加して下さい)
参加資格	日本国内のアマチュア局 個人局および社団局 (シングルオペに限る)
周波数・電波形式	5 0 . 4 0 0 ~ 5 0 . 9 0 0 M H z 2 8 . 6 0 0 ~ 2 8 . 8 5 0 M H z 1 4 4 . 3 0 0 ~ 1 4 4 . 5 0 0 M H z 4 3 0 . 4 0 0 ~ 4 3 0 . 8 0 0 M H z の 4 バンド A M (搬送波のある A 3 E と H 3 E) 5 0 . 6 0 0 ~ 5 0 . 6 4 0 M H z は Q R P 局の優先呼出し周波数とします 2 8 / 1 4 4 / 4 3 0 M H z 帯では他のモードで運用される局との混信には十分な配慮を持って 運用願います バンド毎の運用時間は決めていません 伝搬状態を把握して運用してください
参加部門	A 5 0 M H z シングルバンド部門 B マルチバンド部門 C 5 0 M H z Q R P シングルバンド部門 D Q R P マルチバンド部門
呼出方法	" C Q A M コンテスト "
コンテストナンバー	R S + 自局 (運用地) の J C C または J C G ナンバー
得 点	異なる局との交信 1 局につき 1 点
マ ル チ	(1) 交信した異なる J C C または J C G ナンバー (東京 2 3 区は従来どおり J C C ナンバー 1 0 0 1 のみ) (2) 交信した異なる国内コールエリアの数 (ただし 0 ~ 9 および J D 1 沖縄県を別途コール エリアとして加え最大 1 2 とする) (3) 交信したバンドの数 参加部門 A、C では " 1 " B、D では運用バンド数 最大 " 4 " マルチプライヤーはバンドごとカウント出来ません 交信全バンドで重複の無いようカウントして ください (交信局および J C C ・ G ナンバーは一度しかカウントできません)
総 得 点	得点の和 x マルチ (1) x マルチ (2) x マルチ (3)
賞	各部門ごと最大全国 10 位までおよび各エリアの 1 位までとし、 全国と各エリアで重複する場合は 併記する
Q R P の定義	送信装置の全消費電力は 5 W 以下であること (管球式の装置にあってはヒーター・フィラメント等 に消費する電力は除く) 出力の低減装置 (回路) による運用は認めない 自作機においては簡単な 構成図を添付し送信装置の全消費電力を記入のこと
書類提出	8 月 1 0 日 郵送・E-mail とも必着 極力 E-mail にてお願いします 書式; 下記 E-mail 形式を添付でご利用下さい または J A R L 形式またはこれに準じた形式ある いはこれら J A R L 形式の必須事項を記載した Excel 形式で添付でも O K です (いずれも当コンテ ストの指定記載事項は必ず記載されていること) E-mail 形式; U R L http://www.6mam.com/ より 資料 / コンテスト / 2 エリア主催 A M コ ンテストに関するページからサマリー・ログシートをダウンロードしてお使い下さい いずれの形式 のログシートもバンド別に記載する必要は無く記入例のように交信時間順に記載して下さい 書類は 4 部門のうち いずれか 1 部門のみに提出の事 お願い; E-mail 書式を郵送・手書きで使われる方は合計欄・総得点欄を空白にしてダウンロード してお使い下さい (上記 2 エリア主催 A M コンテストに関するページの最下段に「コンテストログ受付済みリスト」の 欄を設けました)
提 出 先	郵送 〒 481-0001 愛知県北名古屋市六ツ師松葉 6 2 - 1 6 m A M 愛好会事務局 宛 E-mail; contest@6mam.com 件名には「2 A M コンテスト」として下さい (必須)
問 合 せ	事務局 または E-mail; ja2azz@jarl.com
発 表	ハムフェア会場 6 m A M ロールコールグループ ブースにておよび当 U R L 他 個人宛結果送付 (E-mail SASE の方) は 9 月 1 5 日までに発送の予定

6mAMマラソンコンテスト

名 称：(新)6mAM マラソンコンテスト
目 的：6mAMのアクティビティー向上
主 催：6mAM愛好会
日 時：1年を1月～6月と7月～12月に分け年2回開催

参加資格：国内の個人アマチュア局
周波数：50.400MHz～50.900MHz

モード：AM（搬送波のあるA3EとH3E）

部門：なし（但し表彰はエリア別とします）

呼び出し：特に定めません

コンテストナンバー：RSレポート交換の通常のQSO

得 点：異なる局との完全な交信をもって1点とする

マルチ：交信日数

総 得 点：得点×マルチ

注意事項1：同一局との交信は1回のみ得点として計上できる。

マルチには何回でも計上できる。

注意事項2：同一エリア内の移動に限り得点計上できる。

マルチは他エリアの移動でも計上できる。

注意事項3：他のコンテスト・RC（キー局の方はご遠慮下さい）での交信も有効です。

注意事項4：必ず6mAMの免許を受けている事を確認してから参加して下さい。

注意事項5：その他はJARLコンテスト規約に準ずる

表 彰：エリア別に上位3位まで表彰する（但し10局未満のエリアは1位のみ）。

その他QRP賞などを予定。

提出書類：できるだけ電子メールでお願いします。

サマリーシートはJARL様式に準じて下さい。

ログシートは必ずExcel形式またはExcelで読み込める（カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られた）

テキスト形式でお願いします。

※ 紙ログの場合はJARL様式（自作の場合はA4サイズに限る）で

必ず左上のみをホチキスで止める事。

提出先：E-mail；contest@6mam.com 件名に「マラソンコンテスト」と記入の事

郵送 〒481-0001 愛知県北名古屋市六ツ師松葉62-1

6mAM愛好会事務局 宛

締 切：終了翌月（7月・1月）末必着（メール・郵送）

発 表：締切後1ヶ月以内に6mAM愛好会HP等で発表。

参加者にもメールします（郵送希望者はSASE同封の事）。

その他：このコンテストに関する質問・御意見がありましたら提出先までお願いします。

全国 6mAM ロールコールについて

富士山頂における全国 6mAM ロールコールは 2002 年より毎年 9 月に有志の数人で行われておりました。本年は下記の予定で実行します。。

運用場所：富士山頂、テント及び小屋泊まり 3 泊の予定

登山時期：9 月 20 日～ 23 日の間の 3～4 日間 (富士山はこの時期は人が少なくてよい)

ロールコール実施日：登山期間内の 1 日

時 間：打ち合わせによる

周 波 数：50.6 MHz 付近

なお実施の場合情報は下記の BBS または各地の ML で公表いたします。

<http://www.6mam.com>



山頂のアンテナ



富士山頂 (剣が峰)

「AM ロールコールグループ」キー局（ネット局）募集

「6mAM ロールコール」は AM のアクティビティの向上を目指す各地区の有志の手によって運営されています。皆それぞれ勤めの合間を縫って時間を作ってキー局（ネット局）を勤めています。しかし仕事の都合、家庭の事情等で必ず毎回運営出来るとは限らない事情が続いています。そこで各地の「6mAM ロールコール」のグループではキー局（ネット局）を勤めてくださるかたを随時募集しています。毎月でなくてもかまいません年 1 回でも 2 回でも良いのでご協力いただけるかたがおられましたらロールコールのキー局（ネット局）か下記の各地の担当者へご連絡いただけると幸いです。

[1 エリア] JP1EVD E メール jp1evd@jarl.com

[2 エリア] JA2AZZ E メール ja2azz@jarl.com

[3 エリア] JA3XQO E メール ja3xqo@6m.net

[3 エリア] JL3FIS E メール JL3FIS@jarl.com

[0 エリア] JGOGJG <http://6mhfamcwf.fc2web.com/amrc/index3.html>

ハムフェアのパンフレット原稿募集

来年も「6mAM ロールコールグループ」のパンフレットの原稿を募集いたします。

内容：

- (1) 各地のロールコールの紹介
- (2) ロールコールの運用状況の紹介
- (3) 各地の AM アクティブ局の紹介
- (4) アンテナ、無線機などの製作記事
- (5) 移動運用の報告
- (6) 設備や無線機の紹介
- (7) その他

原稿はテキストファイル、ワープロソフトのファイル、なんでも結構です。

パンフレットは B5 版で印刷しますので、ワープロ原稿は B5 版での構成をお願いします。ワープロで写真を取り込むと、編集できなくなることがありますので、写真、配線図等は別途添付ファイルで送ってください。写真はできるだけ解像度の高いものでお願いいたします。

最近ロールコールのない地方の投稿が減っています、自局の設備、機材、ローカルミーティング、移動運用の写真等と簡単な説明だけで結構です各地の情報をお送りください。

原稿納期：2014 年 6 月末

原稿の送り先： ja1eez.yma@gmail.com(原稿送付用メールアドレスを作りました。)

お願い：原稿を送っていただく際は [件名] に必ず「**原稿**」の文字を入れて

上記アドレスにお送りください。

(8) 表紙や裏表紙などに使用する写真も募集します、何かありましたらお送りください。

*** 6mAMロールコールグループへの運営資金の寄付お礼とお願い ***

昨年のハムフェアの時に配布したパンフレットで、運営資金の寄付をお願いしたところ、数名の方から寄付を頂きました。大変ありがとうございました。お陰様で本年も無事に出展を行うことができました。勝手なお願いではございますが、本年も引き続き以下の趣旨にて寄付をお願いしております。

6mAM ロールコールグループでは、できるだけ少ない経費で活動をPRしたいと考え、純粋展示によるブース出展を行っており、本ブースのPRに大きな役割を果たしている当パンフレットも無償で配布しております。しかしながら、出展経費が減免されている純粋展示であっても、ブース運営には出展費用やパンフレット作成などに数万円の経費が必要となっています。

ここで、誠に勝手なお願いではありますが、本パンフレットをお読みにになり、当グループの活動にご賛同頂ける方に、ご寄付をお願いし、今後の運営資金にしたいと考えております。ただ、純粋展示ブースにおいて、ハムフェア会場内で寄付を受けることは販売と見なされる可能性があるため、郵便振替による寄付をお願いすることとしました。

なお、寄付は、少額で構いませんし、寄付の有無でロールコールにおける扱いに差をつけることはありません。その点、あわせてお知らせします。

また、ご寄付の際には、電子メールアドレスをご記入いただきたく、あわせてお願いいたします。

寄付をお願いする郵便振替口座の番号と名義人は下記の通りです。

口座番号：00160-9-550537

口座名称：6mAMロールコールグループ

なお、この件に関して、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、会計担当の J K I O N N (jk1onn@jarl.com) までおたずねください。

編集後記

昨年以上の暑い日が続いていますが皆様の体調は如何でしょうか？ 8月9日から編集作業に専念しています、今年はサマーパーティー参加のAM局が多いようで平日でも50.6MHzでポツポツCQを出す局が聞こえます。皆様のご協力で多くの原稿が集まりページ数が60ページに近づいています、もう少しで編集が終了出来ると思います。昨年もお願ひいたしました、カットに使用する写真が不足しています皆様のリグやアンテナ、運用の写真等がありましたらご提供いただけるようよろしくお願いいたします。de JA1EEZ 8月15日



FDAM-3